

新・マスタープラン事業評価管理シート

令和2年度評価結果

令和3年9月

新潟市水道局

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-1	水源水質の監視	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	---------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	同一の水源を利用する水道事業者や関係機関と連携し、情報共有体制の構築や河川の水質調査を行うことにより、浄水処理への影響を未然に防ぎます。					
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度		令和元年		令和2年	
	水源の監視・調査 ・信濃川・阿賀野川両水系水質協議会（両水協）および水質汚濁対策連絡協議会と連携し水源監視を実施します。 ・灯油流出などの水質事故時の緊急連絡について、関係機関と情報共有を確実に実施します（365日24時間）。 ・水道原水の共同調査を実施します（信濃川及び阿賀野川から取水する県内事業者の取水地点のうちで代表的な地点の河川水質を調査）。 ・浄水施設での対応が困難な物質を監視します。特に、水質基準外であっても人体に影響を及ぼすおそれがある項目を調査します。		水源の監視・調査 ・信濃川・阿賀野川両水系水質協議会（両水協）および水質汚濁対策連絡協議会と連携し水源監視を実施します。 ・灯油流出などの水質事故時の緊急連絡について、関係機関と情報共有を確実に実施します（365日24時間）。 ・水道原水の共同調査を実施します（信濃川及び阿賀野川から取水する県内事業者の取水地点のうちで代表的な地点の河川水質を調査）。 ・浄水施設での対応が困難な物質を監視します。特に、水質基準外であっても人体に影響を及ぼすおそれがある項目を調査します。		水源の監視・調査 ・信濃川・阿賀野川両水系水質協議会（両水協）および水質汚濁対策連絡協議会と連携し水源監視を実施します。 ・灯油流出などの水質事故時の緊急連絡について、関係機関と情報共有を確実に実施します（365日24時間）。 ・水道原水の共同調査を実施します（信濃川及び阿賀野川から取水する県内事業者の取水地点のうちで代表的な地点の河川水質を調査）。 ・浄水施設での対応が困難な物質を監視します。特に、水質基準外であっても人体に影響を及ぼすおそれがある項目を調査します。	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年			令和2年		
	予算額 (a)	752,300			1,030,100			1,273,200		
	執行額 (b)	752,300			1,030,100			1,273,200		
	執行率 (%) (b) / (a)	100%			100%			100%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年	対目標	目標	令和2年	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%
	期間 (d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月		12ヶ月	12ヶ月		12ヶ月		
	単位あたり の作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	10時間	10時間	(イ/ア)	10時間	10時間	(イ/ア)	10時間	10時間	(イ/ア)
	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年			令和2年					
	・県内13水道事業者を会員として構成される両水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。平成29年度は両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。平成29年11月に水質技術研修会を実施し、流域連携や河川事故等の対応について情報交換を行い、水質監視体制に関する技術的知見について、会員間で共有を図りました。	・県内13水道事業者を会員として構成される両水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。			・県内12水道事業者を会員として構成される両水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。			・県内12水道事業者を会員として構成される両水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。令和2年度は総会及び幹事会を書面で開催しました。両水協の事業運営に係る基本方針及び実施計画並びに予算の審議決定等を行い、水質異常が発生した場合に、影響を最小限とするための迅速かつ適切な対応をする準備を整えました。					
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		水源の監視及び調査		1点		水源の監視及び調査		1点		水源の監視及び調査		1点	
		平均 (A)	1.0点			1.0点			1.0点				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年			令和2年		
	平成30年	令和元年	令和2年	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)
河川水質事故による 水道水の影響	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	0%	0%	0%	0%	100%	3点	0%	100%	3点	0%	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
水道原水の水質調査	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	2回	2回	2回	2回	100%	3点	2回	100%	3点	2回	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
浄水施設での対応が 困難な物質の監視	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	4回	4回	4回	4回	100%	3点	4回	100%	3点	4回	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年			令和2年		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<p>本事業の活動予算については、両水協負担金として新潟県内13水道事業体の有収水量に応じて案分された額が充てられています。共同調査、上流調査、技術研修会の開催など、同協議会の事業計画および年間予算については、両水協総会（毎年6月実施）で承認される事案です。平成30年度予算の執行状況については、2月開催された幹事会において、概ね予定通りの執行であったと評価されました。</p>			<p>本事業の活動予算については、両水協負担金として新潟県内12水道事業体の有収水量に応じて案分された額が充てられています。共同調査、上流調査、技術研修会の開催など、同協議会の事業計画および年間予算については、両水協総会（毎年6月実施）で承認される事案です。平成31年度(令和元年度)予算の執行状況については、2月開催された幹事会において、概ね予定通りの執行であったと評価されました。</p>			<p>本事業の活動予算については、両水協負担金として新潟県内12水道事業体の有収水量に応じて案分された額が充てられています。共同調査、上流調査、技術研修会の開催など、同協議会の事業計画および年間予算については、両水協総会（毎年6月実施）で承認される事案です。感染症の影響により、会議費及び研修費等の決算額が予算額を下回りました。書面で開催した幹事会において、繰越金の増額を踏まえて、令和3年度の負担金を減額する案が承認されました。</p>		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<p>両水協の活動を通して、信濃川水系および阿賀野川水系で年間100件程度発生している水質事故について、事故発生時の迅速な連絡通報と関係機関との情報共有に努めることにより、水系全体の影響を未然に防ぎました。加えて、年次計画にある共同調査や特別調査を実施し、会員事業体の共益となる情報が得られました。また、幹事会や技術研修会等を通して、会員相互の連携がより強化され、本事業の目的である水源に内在するリスクの顕在化を未然に防止する取組みに対して十分な有効性があったと評価できます。</p>			<p>両水協の活動を通して、信濃川水系および阿賀野川水系で年間100件程度発生している水質事故について、事故発生時の迅速な連絡通報と関係機関との情報共有に努めることにより、水系全体の影響を未然に防ぎました。加えて、年次計画にある共同調査や特別調査を実施し、会員事業体の共益となる情報が得られました。また、幹事会や技術研修会等を通して、会員相互の連携がより強化され、本事業の目的である水源に内在するリスクの顕在化を未然に防止する取組みに対して十分な有効性があったと評価できます。</p>			<p>両水協の活動を通して、信濃川水系および阿賀野川水系で年間100件程度発生している水質事故について、事故発生時の迅速な連絡通報と関係機関との情報共有に努めることにより、水系全体の影響を未然に防ぎました。加えて、年次計画にある共同調査や特別調査を実施し、会員事業体の共益となる情報が得られました。 ・本市に直接影響する事案としては、大河津分水内にある西川導水路の上流のため池から発生するカド臭物質について、主体的な情報収集を行い、関係者と連携して必要な対応を実施しました。</p>		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I - 2	水安全計画の充実・適切な運用	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-------	----------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	安全で良質な水道水を継続的に供給するために、水源からじゃ口までのすべての過程における一元的な水質管理を行う「水安全計画」を評価し、必要に応じて見直すことで計画の充実を図っていきます。					
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度		令和元年		令和2年	
	水安全計画の運用・評価 ・PDCAサイクルによる水安全計画の評価を毎年実施し、必要に応じて適宜見直しを行います。		水安全計画の運用・評価 ・PDCAサイクルによる水安全計画の評価を毎年実施し、必要に応じて適宜見直しを行います。		水安全計画の運用・評価 ・PDCAサイクルによる水安全計画の評価を毎年実施し、必要に応じて適宜見直しを行います。	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年			令和2年		
	予算額 (a)	0			0			0		
	執行額 (b)	0			0			0		
	執行率 (%) (b) / (a)	-			-			-		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年	対目標	目標	令和2年	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	60時間	60時間	100%	60時間	60時間	100%	60時間	60時間	100%
	期間 (d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月		12ヶ月	12ヶ月				
	単位あたり の作業量 (c/d) (ひと月あたりの実働時間)	5時間 (ア)	5時間 (イ)		5時間 (イ/ア)	5時間 (イ)		5時間 (イ/ア)		

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年			令和2年					
	<ul style="list-style-type: none"> 毎年度末に水安全計画の運用について、事故等への対応状況の評価する妥当性の確認を行っています。 平成27年度は各浄水場別の水安全計画の見直しを行い、より実効性のある計画の改定を行いました。具体的には、各浄水場における管理基準値を見直し、異常時・緊急時対応マニュアルを最新版に改めました。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年度末に水安全計画の運用について、事故等への対応状況の評価する妥当性の確認を行っています。 平成30年度は阿賀野川浄水場の水安全計画について大幅に見直しを行い、より実効性のある計画に改定を行いました。具体的には、浄水場における管理基準値を見直し、異常時・緊急時対応マニュアルを最新版に改めました。次年度には改訂した阿賀野川浄水場水安全計画を参考に、他の浄水場分について順次見直しを行います。 			<ul style="list-style-type: none"> 毎年度末に水安全計画の運用について、事故等への対応状況の評価する妥当性の確認を行っています。 平成31年度(令和元年度)は信濃川浄水場、青山浄水場、満願寺浄水場、戸頭浄水場、巻浄水場の水安全計画について大幅に見直しを行い、より実効性のある計画に改定を行いました。具体的には、浄水場における管理基準値を見直し、異常時・緊急時対応マニュアルを最新版に改めました。次年度以降は、運用状況を振り返りながら適宜見直しを進め、PDCAサイクルを確実に推進していきます。 			<ul style="list-style-type: none"> 毎年度末に水安全計画の運用について、事故等への対応状況の評価する妥当性の確認を行っています。 新たな管理基準値及び、異常時・緊急時対応マニュアルに従い、適切な運用をすることができました。 					
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		水安全計画の評価・見直し		1点		水安全計画の評価・見直し		1点		水安全計画の評価・見直し		1点	
		平均 (A)		1.0点		平均 (A)		1.0点		平均 (A)		1.0点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度				令和元年				令和2年				
	平成30年度	令和元年	令和2年	実績(D)		達成度(B/D)		外的要因		実績(D)		達成度(B/D)		外的要因		
浄水場「水安全計画」 の評価実施率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因		実績(D)	達成度(B/D)	外的要因		実績(D)	達成度(B/D)	外的要因		
	100%	100%	100%	100%	100%	3点		100%	100%	3点		100%	100%	3点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	
	-	-	-	-	-	3点		-	-	3点		-	-	3点		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因		実績(D)	達成度(B/D)	外的要因		実績(D)	達成度(B/D)	外的要因		
						加点				加点				加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)				実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)			
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因		実績(D)	達成度(B/D)	外的要因		実績(D)	達成度(B/D)	外的要因		
						加点				加点				加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)				実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)			
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因		実績(D)	達成度(B/D)	外的要因		実績(D)	達成度(B/D)	外的要因		
						加点				加点				加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)				実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)			
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因		実績(D)	達成度(B/D)	外的要因		実績(D)	達成度(B/D)	外的要因		
						加点				加点				加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)				実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)			

■評価結果

所管評価	平成30年度				令和元年				令和2年			
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	水安全計画の評価については、平成21年度の策定以来、運用状況を振り返りながら適宜見直しを進めるPDCAサイクルを確実に推進しています。なお、水安全計画実施に際しては特別の予算は計上していません。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価		予算効率	3点	総合評価		予算効率	3点	総合評価	
評価の観点・結果	作業効率	3点	C		作業効率	3点	C		作業効率	3点	C	
	外的要因加点	0点	6点/10点		外的要因加点	0点	6点/10点		外的要因加点	0点	6点/10点	
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	新潟市内すべての浄水場において妥当性の確認作業に加え、阿賀野川浄水場については大幅な見直しを行いました。水安全計画を着実に実行することによって、水源から給水栓に至るまでのリスクを未然に防止することができ、安全な水道水の安定供給が可能となっています。次年度には、阿賀野川浄水場以外の当該計画について、より実効性の高い計画となるよう、大幅に見直しを実施する予定です。											
評価結果	達成度	3点	総合評価		達成度	3点	総合評価		達成度	3点	総合評価	
評価の観点・結果	進捗度	3点	C		進捗度	3点	C		進捗度	3点	C	
	外的要因加点	0点	6点/10点		外的要因加点	0点	6点/10点		外的要因加点	0点	6点/10点	

④ 2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。 なお、水安全計画の運用・評価に際しては、PDCAサイクルの確実な推進に留意すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-3	水質管理体制の強化	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	-----------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	水道GLP（水道水質検査優良試験所規範）を維持し、水質検査結果の精度と信頼性を確保します。					
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度		令和元年		令和2年	
	水道GLPの維持・更新 ・水質検査機器の計画的な更新と更新計画の見直しを行います。 その他 ・水質管理における人材育成と技術の継承を行います。 ・水質検査計画を策定し、検査計画及び検査結果を公表します。 ・試験方法等の調査研究を実施します。 ・サーベイランスの実施（更新中間期）を行います。		水道GLPの維持・更新 ・水質検査機器の計画的な更新と更新計画の見直しを行います。 その他 ・水質管理における人材育成と技術の継承を行います。 ・水質検査計画を策定し、検査計画及び検査結果を公表します。 ・試験方法等の調査研究を実施します。 ・サーベイランスの実施（更新中間期）を行います。		水道GLPの維持・更新 ・水質検査機器の計画的な更新と更新計画の見直しを行います。 その他 ・水質管理における人材育成と技術の継承を行います。 ・水質検査計画を策定し、検査計画及び検査結果を公表します。 ・試験方法等の調査研究を実施します。	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年			令和2年		
	予算額 (a)	68,780,513			71,433,338			63,353,810		
	執行額 (b)	61,602,579			65,287,187			63,812,346		
	執行率 (%) (b) / (a)	90%			91%			101%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年	対目標	目標	令和2年	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	120時間	120時間		120時間	120時間		120時間	120時間	
	期間 (d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月	100%	12ヶ月	12ヶ月	100%	12ヶ月	12ヶ月	100%
	単位あたりの 作業量 (c/d) (ひと月あたりの実働時間)	10時間	10時間	(イ/ア)	10時間	10時間	(イ/ア)	10時間	10時間	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年			令和2年					
	・平成29年度はGLP更新審査が実施されました。更新審査では、全体として水道GLPの運用は丁寧かつスムーズに行われており、組織全体として信頼性向上への関心が高いと評価を受けました。 ・水質管理技術については、引き続きOJT (On the Job Training) の確実な実施に効果が期待される業務ローテーションなどのこれまで実施した取組みについて評価を行い、実態にあった体制となるよう努めました。あわせて2019年度水質管理計画を策定しました。	・教育訓練や水質検査機器の保守点検は毎年度当初に実施計画表を作成し、計画的に実施しており2020年2月にはサーベイランスを予定しています。 ・水質管理技術については、引き続きOJT (On the Job Training) の確実な実施に効果が期待される業務ローテーションなどのこれまで実施した取組みについて評価を行い、実態にあった体制となるよう努めました。あわせて2019年度水質管理計画を策定しました。			・2020年2月の水道GLPのサーベイランスでは現地審査において認定事務局からは良好な評価を受け、認定を維持しています。 ・教育訓練や水質検査機器の保守点検は毎年度当初に実施計画表を作成し、計画的に実施しています。 ・水質管理技術については、引き続きOJT (On the Job Training) の確実な実施と効果が期待される業務ローテーションを実施しました。 ・令和2年度水質管理計画を検討し、今後求められる水道水質管理の考え方を取り入れた管理計画を策定し、1月に公表しました。			・教育訓練や水質検査機器の保守点検は毎年度当初に実施計画表を作成し、計画的に実施しており2022年2月にはGLP更新審査を予定しています。 ・水質管理技術については、引き続きOJT (On the Job Training) の確実な実施と効果が期待される業務ローテーションを実施しました。 ・令和2年度水質管理計画を検討し、今後求められる水道水質管理の考え方を取り入れた管理計画を策定し、1月に公表しました。					
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		・水道GLPの維持・更新		1点		・水道GLPの維持・更新		1点		・水道GLPの維持・更新		1点	
		・人材育成及び技術継承		1点		・人材育成及び技術継承		1点		・人材育成及び技術継承		1点	
平均 (A)	1.0点			平均 (A)	1.0点			平均 (A)	1.0点				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年			令和2年		
	平成30年	令和元年	令和2年	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)
検査機器の 保守点検実施率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	100%	100%	100%	100%	100%	3点	100%	100%	3点	100%	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
教育訓練実施率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	100%	100%	100%	100%	100%	3点	100%	100%	3点	100%	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
水質検査の公表回数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	12回	12回	12回	12回	100%	3点	12回	100%	3点	12回	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年			令和2年		
【効率性評価】 -	<ul style="list-style-type: none"> GLP認定維持に係る予算については当初計画通りに適切に施行され、また、その評価についても満足するものでした。 機器の状態を勘案し、修繕用備品の交換時期を見直すことで、当該費用が抑えられたこと、突発的な機器修繕が少なく済んだことから、予算効率が向上しました。 水質管理における人材育成・技術の継承については、主にOJTにより進めていることから特別の予算は計上していません。 			<ul style="list-style-type: none"> GLP認定維持に係る予算については審査員の交通費の部分を除いて当初計画通りに適切に施行され、また、その評価についても満足するものでした。 突発的に発生する分析機器のトラブルが少なかったため、修繕費用を抑えられたことから、予算効率が向上しました。 水質管理における人材育成・技術の継承については、主にOJTにより進めていることから特別の予算は計上していません。 			<ul style="list-style-type: none"> GLP認定維持に係る予算については適切に執行され、また、その評価についても満足するものでした。 令和2年4月より環境中の汚染物質として注目度の高い有機フッ素化合物の一種であるPFOSとPFOAが、水質管理目標設定項目に格上げされました。前処理として濃縮操作が必要となることから、急速空吹付濃縮装置を購入しました。他にも、PFOS、PFOAの測定に必要な備消耗品類を購入したため執行額が予算額を上回りました。 水質管理における人材育成・技術の継承については、主にOJTにより進めていることから特別の予算は計上していません。 		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	2点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点		6点/10点	外的要因加点		0点	6点/10点	
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> GLP認定を維持しているということは、本市の水質検査が一定水準以上の技術力を確保し、その検査精度について第三者機関により客観的に保証されるということです。水道水の安全性保証を確実に行うことは、本市新・マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。 水質管理技術向上については、分析技術の計画的な習得を進め教育訓練を着実に実施することで、その成果を現場に反映できるよう努めています。 			<ul style="list-style-type: none"> GLP認定を維持しているということは、本市の水質検査が一定水準以上の技術力を確保し、その検査精度について第三者機関により客観的に保証されるということです。水道水の安全性保証を確実に行うことは、本市新・マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。 水質管理技術向上については、分析技術の計画的な習得を進め教育訓練を着実に実施することで、その成果を現場に反映できるよう努めています。 			<ul style="list-style-type: none"> GLP認定を維持しているということは、本市の水質検査が一定水準以上の技術力を確保し、その検査精度について第三者機関により客観的に保証されるということです。水道水の安全性保証を確実に行うことは、本市新・マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。 水質管理技術向上については、分析技術の計画的な習得を進め教育訓練を着実に実施することで、その成果を現場に反映できるよう努めています。 		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点		6点/10点	外的要因加点		0点	6点/10点	

④ 2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-4	新潟市独自の管理目標による水質管理	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	-------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	国が定める水質基準値等より厳しい、本市独自の「安全性とおいしさの基準」である管理目標値を設定し、より安全でおいしい水道水の供給に取り組んでいます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年	令和2年
	独自管理目標による水質管理 ・農薬類と総トリハロメタン、残留塩素と臭気強度に関しては、独自の管理目標値により管理を行います。 ・必要に応じて独自管理目標値の見直しを行います。	独自管理目標による水質管理 ・農薬類と総トリハロメタン、残留塩素と臭気強度に関しては、独自の管理目標値により管理を行います。	独自管理目標による水質管理 ・農薬類と総トリハロメタン、残留塩素と臭気強度に関しては、独自の管理目標値により管理を行います。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年			令和2年		
	予算額 (a)	34,851,600			41,850,000			30,856,000		
	執行額 (b)	41,779,044			27,064,312			26,202,200		
	執行率 (%) (b) / (a)	120%			65%			85%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年	対目標	目標	令和2年	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%
	期間 (d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月		12ヶ月	12ヶ月		12ヶ月		
	単位あたりの 作業量 (c/d)	10時間	10時間		10時間	10時間		10時間		
	(ひと月あたりの実働時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年			令和2年				
	・平成29年度については、全ての項目で目標を達成することができました。臭気強度管理においては、浄水場職員を対象とした臭気研修を行い浄水場出口での臭気確認体制の強化に努めることで、その効果を高めています。	・平成30年度については、総トリハロメタン濃度が独自目標値を1回超えたため、達成率は98%となりましたが、他の項目については目標を達成できませんでした。目標達成率に達しなかった総トリハロメタン濃度については、夏季の塩水遡上等により河川水質が急激に悪化したため、一時的に目標値を超過したものと考えています。今後は河川水質の急激な変化にも対応できるよう、水質管理体制の強化を図っていきます。			・令和元年度については、残留塩素管理目標達成率が目標を下回りましたが、他の項目については目標を達成できました。残留塩素管理については、夏場の管末残塩低下によりほとんどの浄水場で管理式を引き上げて対応したため目標としている濃度を超える地点が多く見られました。今後は水需要と滞留時間の変化に注意し河川水質の急激な変化にも対応できるよう、水質管理体制の強化を図っていきます。			・令和2年度については、残留塩素管理目標達成率が目標を下回りましたが、他の項目については目標を達成できました。 ・残留塩素管理については、8月～9月の高水温の影響で塩素注入率が上がり、達成率が下がりました。各浄水場の給水区域の特性を評価し、管網末端における消毒効果を確保しつつ浄水場出口の残留塩素濃度を低く抑える取り組みを進め、水質管理体制の強化を図っていきます。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
	・独自管理目標値による水質管理		1点		・独自管理目標値による水質管理		1点		・独自管理目標値による水質管理		1点	
		平均 (A)	1.0点			平均 (A)	1.0点			平均 (A)	1.0点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年			令和2年		
	平成30年度	令和元年	令和2年	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)
農業濃度 管理目標達成率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因
	100%	100%	100%	100%	100%	3点	100%	100%	3点	100%	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	-	-	-	-	-	3点	-	-	3点	-	-	3点
総トリハロメタン濃度 管理目標達成率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因
	100%	100%	100%	98%	97.7%	3点	100%	100%	3点	100%	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	-	-	-	-	-	3点	-	-	3点	-	-	3点
残留塩素 管理目標達成率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因
	91%	91%	91%	87%	95.6%	3点	90%	98.9%	3点	89%	97.8%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	-	-	-	-	-	3点	-	-	3点	-	-	3点
臭気強度管理目標達成率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因
	100%	100%	100%	100%	100%	3点	100%	100%	3点	100%	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	-	-	-	-	-	3点	-	-	3点	-	-	3点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因
						加点			加点			加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年			令和2年		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給するために、浄水場と連携し粉末活性炭処理を実施することにより、目標値を概ね達成できました。調査研究は特別な予算を計上しておらず、業務に関連する項目について計画的に実施しています。</p> <p>・H30年度予算執行額が予算額を超過した要因については、昨年度発生した塩水遡上等の河川水質の急激な変化に対応するため、例年よりも活性炭を多く使用したことが考えます。</p>			<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給するために、浄水場と連携し粉末活性炭処理を実施することにより、目標値を概ね達成できました。残留塩素管理は将来的な水需要を考慮し目標値の見直しを行う予定です。</p> <p>・前年度は塩水遡上対策のために多くの活性炭注入が必要でした。令和元年度は前年度に比べ原水水質が安定していたため活性炭にかかる費用が抑えられたと考えられます。</p>			<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給するために、浄水場と連携し粉末活性炭処理を実施することにより、目標値を概ね達成できました。残留塩素管理は将来的な水需要を考慮し目標値の見直しを行う予定です。</p> <p>・令和2年度は、大津分水内にある西川導水路上流のため池から一過性のカビ臭物質の排出がありましたが、塩水遡上等の河川水質の急激な変化はなく、安定していたため活性炭にかかる費用が抑えられたと考えられます。</p>		
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給する取組みは、本市マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。ただし、活性炭の注入率と注入手法については浄水費の増加と関連することから、今後とも調査研究を進めます。</p>			<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給する取組みは、本市マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。ただし、活性炭の注入率と注入手法については浄水費の増加と関連することから、今後とも調査研究を進めます。</p>			<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給する取組みは、本市マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。ただし、活性炭の注入率と注入手法については浄水費の増加と関連することから、今後とも調査研究を進めます。</p>		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評		
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-5	分かりやすい水質情報の提供	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	---------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	安全でおいしい水や災害時での水の安定供給など、多様化するお客さまのニーズに対して、水道水をおいしく飲める啓発活動やニーズにあった情報提供などを行い、水道水に対する信頼性を高めます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年	令和2年
	啓発活動の継続・充実 ・ろ過実験やきき水を実際に体験してもらうことで、水道水質への理解を深める「体験型広報」を充実させます。 ・小学校向けプレゼンテーションのスキルアップを図ります。 分かりやすい情報提供 ・最新の情報やデータを盛り込んだパンフレット等を作成します。 ・水質管理に関する情報提供のツールとしてインターネットを活用します。 ・小学生向け説明補助資料を充実させます。	啓発活動の継続・充実 ・ろ過実験やきき水を実際に体験してもらうことで、水道水質への理解を深める「体験型広報」を充実させます。 ・小学校向けプレゼンテーションのスキルアップを図ります。 分かりやすい情報提供 ・最新の情報やデータを盛り込んだパンフレット等を作成します。 ・水質管理に関する情報提供のツールとしてインターネットを活用します。	啓発活動の継続・充実 ・ろ過実験やきき水を実際に体験してもらうことで、水道水質への理解を深める「体験型広報」を充実させます。 ・小学校向けプレゼンテーションのスキルアップを図ります。 分かりやすい情報提供 ・最新の情報やデータを盛り込んだパンフレット等を作成します。 ・水質管理に関する情報提供のツールとしてインターネットを活用します。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年			令和2年		
	予算額 (a)	331,560			128,628			196,700		
	執行額 (b)	206,172			124,200			0		
	執行率 (%) (b) / (a)	62%			97%			0%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年	対目標	目標	令和2年	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	120時間	120時間		120時間	120時間		120時間	60時間	
	期間 (d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月	100%	12ヶ月	12ヶ月	100%	12ヶ月	12ヶ月	50%
	単位あたり の作業量 (c/d) (ひと月あたりの実働時間)	10時間	10時間	(イ/ア)	10時間	10時間	(イ/ア)	10時間	5時間	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度				令和元年				令和2年			
	・広報人材育成室と連携し、水質管理センターへの市民見学の機会が増えるよう努め、「簡易ろ過実験」「臭気検査」「きき水体験」など体験型広報を実施しました。 ・本市ホームページにおいて、マンガやイラストを活用した水質検査結果の公表により、わかりやすい広報に努めました。	・広報人材育成室と連携し、水質管理センターへの市民見学の機会が増えるよう努め、「簡易ろ過実験」「臭気検査」「きき水体験」など体験型広報を実施しました。 ・本市ホームページにおいて、マンガやイラストを活用した水質検査結果の公表により、わかりやすい広報に努めました。				・広報人材育成室と連携し、水質管理センターへの市民見学の機会が増えるよう努め、「簡易ろ過実験」「臭気検査」「きき水体験」など体験型広報を実施しました。 ・体験型広報を実施した際はアンケートをとり、概ね良好な結果が得られました。 ・本市ホームページにおいて、マンガやイラストを活用した水質検査結果の公表により、わかりやすい広報に努めました。				・感染症防止のため、例年実施していた「簡易ろ過実験」「臭気検査」「きき水体験」などの体験型広報は、実施しませんでした。 ・小学生向けプレゼンテーションの資料を見直し、水質管理について理解を深めてもらうための広報活動の準備を整えました。 ・パンフレットについては、感染症の影響により配布の機会がなくなったため、作成しませんでした。 ・本市ホームページにおいて、マンガやイラストを活用した水質検査結果の公表により、わかりやすい広報に努めました。			
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	
	・啓発活動の継続		1点		・啓発活動の継続		1点		・啓発活動の継続			0点	
	・分かりやすい情報提供		1点		・分かりやすい情報提供		1点		・分かりやすい情報提供			0点	
	平均 (A)	1.0点				1.0点				0点			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年			令和2年		
	平成30年度	令和元年	令和2年	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
体験型広報年間実施数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	12回	12回	12回	12回	100.0%	3点	12回	100.0%	3点	0回	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	—	—	—	—	—	3点	—	—	3点	—	—	—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年			令和2年		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<p>・本事業についてはいずれも当初予定通りに実施されています。また、広報業務については、水道局広報人材育成室と連携することにより実施しています。</p> <p>・予算の執行率については、水源保全および水質管理センターPRパンフレットの構成を見直したことに加え、競争入札により当該費用を抑えることができたため、予算効率が向上しました。</p>			<p>・本事業についてはいずれも当初予定通りに実施されています。また、広報業務については、水道局広報人材育成室と連携することにより実施しています。</p>			<p>・感染症防止のため、令和2年度は体験型広報を実施することができませんでした。</p> <p>・予算の執行率については、「水質保全に関するパンフレット」及び、「水質管理センターPRパンフレット」の作成を行わなかったため、執行額が0円となりました。</p> <p>「体験型広報年間実施数」は評価対象外とします。</p>		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	-	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	3点	C	作業効率	-	-
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	-	0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<p>・広報の充実については、今後当局として取組んでいくべき重要課題です。水質管理に精通した職員が水道水の安全性を分かりやすく広報することにより、お客さまが抱く水質的な不安感を払拭し、本市新・マスタープランの理念を実現することができると評価しています。また、今後は広報活動後にアンケートを実施することで、その浸透度等を評価できるよう努めていきます。</p>			<p>・広報の充実については、今後当局として取組んでいくべき重要課題です。水質管理に精通した職員が水道水の安全性を分かりやすく広報することにより、お客さまが抱く水質的な不安感を払拭し、本市新・マスタープランの理念を実現することができると評価しています。また、今後も広報活動後にアンケートを実施することで、その浸透度等を評価できるよう努めていきます。</p>			<p>・広報の充実については、今後当局として取組んでいくべき重要課題です。水質管理に精通した職員が水道水の安全性を分かりやすく広報することにより、お客さまが抱く水質的な不安感を払拭し、本市新・マスタープランの理念を実現することが可能となります。感染症の影響を見極め、広報活動が実施可能か判断し、水道水質の理解を深めてもらう取り組みに努めていきます。</p> <p>「体験型広報年間実施数」は評価対象外とします。</p>		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	-	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	-	-
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	-	0点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	— 経営審議会総評
		引き続き、計画に沿って事業を推進すること。ただし、実施施策の浸透度を評価し、次の施策に生かすようにPDCAサイクルを機能させること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	II	給水装置における水質保持	事業・取組名	II-1	学校施設の水飲み水栓の直結給水化	所管課	管路課
----	----	--------------	--------	------	------------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	じゃ口から水を飲むという水道の文化を引き継ぎ、次世代を担う子供たちが水道水のおいしさをより実感できるよう、小中学校の水飲み水栓の直結給水化に取り組みます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	新潟市学校施設整備指針に基づき、小中学校における大規模改修計画に併せ、教育委員会と連携し、水飲み水栓の直結給水化を促進していきます。 教育委員会との連携 大規模改修計画に基づき協議を実施 学校施設の水飲み水栓の直結給水化率：平成32年度に70%以上	新潟市学校施設整備指針に基づき、小中学校における大規模改修計画に併せ、教育委員会と連携し、水飲み水栓の直結給水化を促進していきます。 教育委員会との連携 大規模改修計画に基づき協議を実施 学校施設の水飲み水栓の直結給水化率：平成32年度に70%以上	新潟市学校施設整備指針に基づき、小中学校における大規模改修計画に併せ、教育委員会と連携し、水飲み水栓の直結給水化を促進していきます。 教育委員会との連携 大規模改修計画に基づき協議を実施 学校施設の水飲み水栓の直結給水化率：令和2年度に70%以上

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	0			0			0		
	執行額 (b)	0			0			0		
	執行率 (%) (b) / (a)	-			-			-		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c)	1回	3回		1回	3回		1回	3回	
	協議回数									
	期間 (d) 対応期間	1年	1年	300%	1年	1年	300%	1年	1年	300%
単位あたり の作業量 (c/d)	1回/年	3回/年		1回/年	3回/年		1回/年	3回/年		
対応期間あたり協議回数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度				令和元年度				令和2年度			
	・学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 65.7%	教育委員会との協議 協議実施回数 3回 教育委員会との協議及び情報収集から、大規模改修計画に基づく直結化実施予定校の確認を行いました。 また、大規模改修計画以外の工事(貯水槽入替等)で直結給水化が図られるか確認を行い、財政面から現在の計画に基づき進めることを確認しました。				教育委員会との協議 協議実施回数 3回 教育委員会との協議及び情報収集から、大規模改修計画に基づく直結化実施予定校の確認を行いました。 また、大規模改修計画以外の工事(貯水槽入替等)で直結給水化が図られるか確認を行い、財政面から現在の計画に基づき進めることを確認しました。				教育委員会との協議 協議実施回数 3回 教育委員会との協議及び情報収集から、大規模改修計画に基づく直結化実施予定校の確認を行いました。 また、大規模改修計画以外の工事(貯水槽入替等)で直結給水化が図られるか確認を行い、財政面から現在の計画に基づき進めることを確認しました。			
		学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 66.1 % 市立学校施設数 177校(統合により1校減) 直結化した学校数 117校				学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 65.9 % 市立学校施設数 176校(閉校により1校減) 直結化した学校数 116校(閉校により1校減)				学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 66.1 % 市立学校施設数 177校(閉校により1校増) 直結化した学校数 117校(閉校により1校増)			
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		教育委員会との協議	2点			教育委員会との協議	2点			教育委員会との協議	2点		
		平均 (A)	2.0点				2.0点				2.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
学校施設の水飲み 水栓の直結給水化率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	66.1%	101.7%	4点	65.9%	99.7%	3点	66.1%	94.4%	3点
	前年度以上	前年度以上	70%以上	66.1%	101.7%	4点	65.9%	99.7%	3点	66.1%	94.4%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	—	—	—	—	—	4点	—	—	3点	—	—	3点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度	令和元年度	令和2年度
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	教育委員会との協議及び情報共有を図り、今後の改修予定校を確認しました。 また、その他施設の工事(貯水槽入替、修繕等)に合わせた、直結給水化について協議を進めましたが、財政面から現在の計画に基づく実施を優先することを確認しました。 本取り組みについては、事業の性質上、予算計上及び執行はありません。	教育委員会との協議及び情報共有を図り、今後の改修予定校を確認しました。 また、その他施設の工事(貯水槽入替、修繕等)に合わせた、直結給水化について協議を進めましたが、財政面から今年度は実施できませんでした。 本取り組みについては、事業の性質上、予算計上及び執行はありません。	3回にわたり、教育委員会との協議及び情報共有を図り、今後の改修予定校を確認しました。 また、その他施設の工事(貯水槽入替、修繕等)に合わせた、直結給水化について協議を進めましたが、厳しい財政事情もあり、実施には至りませんでした。 本取り組みについては、事業の性質上、予算計上及び執行はありません。
評価結果	予算効率 4点 作業効率 4点 外的要因加点 0点	予算効率 4点 作業効率 3点 外的要因加点 0点	予算効率 4点 作業効率 3点 外的要因加点 0点
評価の観点・結果	総合評価 B 8点/10点	総合評価 B 7点/10点	総合評価 B 7点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	平成30年度は大規模改修計画による直結給水化は発生しなかったものの、貯水槽方式を採用する1校が統合により減少したため、結果として直結給水化率が向上しました。 引き続き、教育委員会との協議及び情報共有を図り、双方共通の認識で取組を進めています。	令和元年度は大規模改修計画による直結給水化は発生せず、さらに直結方式を採用する1校が閉校により減少したため、結果として直結給水化率が減少しました。 引き続き、教育委員会との協議及び情報共有を図り、双方共通の認識で取組を進めています。	令和2年度は新規開校の新通つばさ小の直結給水化が図られ、前年度より直結給水化率の向上が図られたものの、目標達成には至りませんでした。 引き続き、教育委員会との協議及び情報共有を図り、双方共通の認識で取組を進めています。
評価結果	達成度 4点 進捗度 4点 外的要因加点 0点	達成度 3点 進捗度 3点 外的要因加点 0点	達成度 3点 進捗度 3点 外的要因加点 0点
評価の観点・結果	総合評価 B 8点/10点	総合評価 C 6点/10点	総合評価 C 6点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施 策	II	給水装置における水質保持	事業・取組名	II-2	貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	所管課	管路課
-----	----	--------------	--------	------	---------------------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	貯水槽水道利用者へ安全でおいしい水道水が供給されるよう、訪問指導等の強化により、貯水槽の清掃率向上に向けた積極的な啓発活動を行います。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	民間清掃業者との連携 ・民間清掃業者との連携による啓発活動を行います。 衛生管理訪問指導の実施 ・貯水槽施設衛生管理訪問指導（過去1年以上清掃報告の無い施設を対象に、訪問・電話指導）を実施します。	民間清掃業者との連携 ・民間清掃業者との連携による啓発活動を行います。 衛生管理訪問指導の実施 ・貯水槽施設衛生管理訪問指導（過去1年以上清掃報告の無い施設を対象に、訪問・電話指導）を実施します。	民間清掃業者との連携 ・民間清掃業者との連携による啓発活動を行います。 衛生管理訪問指導の実施 ・貯水槽施設衛生管理訪問指導（過去1年以上清掃報告の無い施設を対象に、訪問・電話指導）を実施します。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	4,052,556			2,040,019			3,911,930		
	執行額 (b)	4,277,612			2,210,114			3,835,623		
	執行率 (%) (b) / (a)	106%			108%			98%		
【時間・体制（人員）】 時間（人員）は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c) 担当者数	0.3人	0.3人	100%	0.3人	0.3人	100%	0.3人	0.3人	100%
	期間 (d) 対応期間	1年	1年		1年	1年		1年		
	単位あたりの 作業量 (c/d)	0.3人/年	0.3人/年	(イ/ア)	0.3人/年	0.3人/年	(イ/ア)	0.3人/年	0.3人/年	(イ/ア)
対応期間あたり 従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度				令和2年度				
	貯水槽清掃実施率 ・簡易専用水道 97.4% ・小規模貯水槽水道 71.7% ・全体清掃率 82.3%	民間清掃業者との連携 貯水槽清掃強化月間の設定に向けて、民間清掃業者との協議を実施しましたが、連携の具体化には至りませんでした。平成30年度は、強化月間での取組案を基に、協議します。			民間清掃業者との連携 貯水槽清掃強化月間での取組案を基に、業界団体との協議を実施したものの、連携の具体化には至りませんでした。令和2年度は協議を継続し、連携案の作成に取り組みます。				民間清掃業者との連携 貯水槽清掃強化月間での取組案を基に、業界団体との協議を実施し、業界団体総会の場での啓発活動を予定しましたが、コロナウイルス蔓延防止の一環として、総会が中止となったため、連携の具体化には至りませんでした。令和3年度についても協議を継続し、総会の場での啓発活動の実施に向けて取り組みます。				
		衛生管理訪問指導の実施 （公財）新潟水道サービスへ貯水槽施設衛生管理指導業務を委託し、過去1年以上清掃報告の無い施設300件を対象に、訪問・電話指導を実施しました。			衛生管理訪問指導の実施 （公財）新潟水道サービスへ貯水槽施設衛生管理指導業務を委託し、過去1年以上清掃報告の無い小規模貯水槽水道施設150件を対象に、訪問・電話指導を実施しました。				衛生管理訪問指導の実施 （公財）新潟水道サービスへ貯水槽施設衛生管理指導業務を委託し、過去1年以上清掃報告の無い小規模貯水槽水道施設150件を対象に、訪問・電話指導を実施しました。				
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		民間清掃業者との連携	2点			民間清掃業者との連携			0点	民間清掃業者との連携			0点
		衛生管理訪問指導の実施	2点			衛生管理訪問指導の実施	2点			衛生管理訪問指導の実施	2点		
		平均 (A)	2.0点			平均 (A)	1.0点				平均 (A)	1.0点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点			
貯水槽清掃実施率 (簡易専用水道)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	93.3%	93.5%	93.7%	95.6%	102.5%	4点	96.4%	103.1%	4点	96.3%	102.8%	4点
	93.3%	93.5%	93.7%	95.6%	102.5%	4点	96.4%	103.1%	4点	96.3%	102.8%	4点	96.3%	102.8%	4点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
貯水槽清掃実施率 (小規模貯水槽水道)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	65.9%	66.0%	66.1%	70.5%	107.0%	4点	70.2%	106.4%	4点	72.0%	108.9%	4点
	65.9%	66.0%	66.1%	70.5%	107.0%	4点	70.2%	106.4%	4点	72.0%	108.9%	4点	72.0%	108.9%	4点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
貯水槽清掃実施率 (全体)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	77.0%	77.2%	77.3%	80.9%	105.1%	4点	81.0%	104.9%	4点	82.1%	106.2%	4点
	77.0%	77.2%	77.3%	80.9%	105.1%	4点	81.0%	104.9%	4点	82.1%	106.2%	4点	82.1%	106.2%	4点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)												
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)												
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	引き続き未清掃の小規模貯水槽施設に対する衛生管理訪問指導を委託化し実施しました。指導対象の増に伴い委託料が増嵩したものの、限られた人員体制の中で、効率よく指導強化を進めました。			引き続き未清掃の小規模貯水槽施設に対する衛生管理訪問指導を委託化し実施しました。指導対象件数を削減したものの、限られた人員体制の中で、効率よく指導強化を進めました。			引き続き未清掃の小規模貯水槽施設に対する衛生管理訪問指導を委託化し実施しました。限られた人員体制の中で、効率よく指導強化を進めました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	2点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	B	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	全体の貯水槽清掃率は、平成29年度に引き続き目標値を3.9ポイント上回りました。引き続き高い清掃率を達成できたことは、訪問・電話指導の充実・強化の効果が一因としてあったものと考えます。しかし、清掃実施率は毎年上下を繰り返しており、今後も継続的に清掃実施率の推移に注視していく必要があります。			全体の貯水槽清掃率は、平成30年度に引き続き目標値を3.7ポイント上回りました。引き続き高い清掃率を達成できたことは、訪問・電話指導の充実・強化の効果が一因としてあったものと考えます。しかし、清掃実施率は毎年上下を繰り返しており、今後も継続的に清掃実施率の推移に注視していく必要があります。			全体の貯水槽清掃率は、目標値を4.8ポイント上回りました。引き続き高い清掃率を達成できたことは、訪問・電話指導の充実・強化の効果が一因と考えます。ただし、清掃実施率の値は上下を繰り返しており、今後とも清掃実施に係る啓発活動を実施する必要があります。		
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B
	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	高い貯水槽清掃率を維持するために、引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	高い貯水槽清掃率を維持するために、引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	Ⅱ	給水装置における水質保持	事業・取組名	Ⅱ-3	指定給水装置工事事業者の技術力向上	所管課	管路課
----	---	--------------	--------	-----	-------------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	指定給水装置工事事業者の技術力向上により、工事の品質確保やお客さまとのトラブルの未然防止を図ります。					
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・指定給水装置工事事業者講習会への参加を積極的に働きかけます。 ・講習会事務局として、適切な施工確保に向けた講習内容の見直しを適宜行います。		講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・指定給水装置工事事業者講習会への参加を積極的に働きかけます。 ・講習会事務局として、適切な施工確保に向けた講習内容の見直しを適宜行います。		講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・指定給水装置工事事業者講習会への参加を積極的に働きかけます。 ・講習会事務局として、適切な施工確保に向けた講習内容の見直しを適宜行います。	
	給水装置工事の適切な評価と表彰制度の継続 ・指定給水装置工事事業者の意欲の向上を図るため、表彰制度を継続します。		給水装置工事の適切な評価と表彰制度の継続 ・指定給水装置工事事業者の意欲の向上を図るため、表彰制度を継続します。		給水装置工事の適切な評価と表彰制度の継続 ・指定給水装置工事事業者の意欲の向上を図るため、表彰制度を継続します。	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	380,000			345,000			423,000		
	執行額 (b)	306,864			322,920			240,787		
	執行率 (%) (b) / (a)	81%			94%			57%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c) 担当者数	0.2人	0.2人	100%	0.2人	0.2人	100%	0.2人	0.2人	100%
	期間 (d) 対応期間	1年	1年		1年	1年		1年		
	単位あたりの 作業量 (c/d)	0.2人/年	0.2人/年		0.2人/年	0.2人/年		0.2人/年		
対応期間あたり 従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度			令和2年度				
	講習会への積極的な参加要請 ・講習会参加率 — 講習内容の適宜見直し ①水道法改正 (予定) 給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・優良工事店表彰 (19件:17社)	講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・引き続き出席者数の増に向けて、参加勧奨に取り組みましたが、業務を理由に参加を見送る事業者も多く、結果として目標達成に至りませんでした。 (前年度は講習会を実施しなかったため、昨年度の目標値を基に評価) ・適切な給水装置工事の施工技術確保に向け、講習内容の見直しと講習会用資料を作成しました。 給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術向上及び意欲高揚を目的とした優良工事店表彰を実施しました。(19件:19社) ・寒波の際の応急復旧支援に対し、特別表彰を実施しました。(1団体)			講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・引き続き出席者数の増に向けて、参加勧奨に取り組みましたが、コロナウイルス感染症拡大防止を理由に、新潟会場を除く県内各会場での開催が中止となったため、申込者全員の受講が叶わなかったこともあり、結果として目標達成に至りませんでした。 ・適切な給水装置工事の施工技術確保に向け、講習内容の見直しと講習会用資料を修正しました。 給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術向上及び意欲高揚を目的とした優良工事店表彰を実施しました。(20件:20社)			講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・令和2年度は、コロナウイルス感染症拡大防止を理由に、講習会開催が叶わず、代替策として、自主学習テキストを全事業者に配布のうえ、回答のあった事業者を受講者として認定する方法により実施しました。新たな取り組みに対する事業者への周知が不十分だったことや、受講勧奨ができなかったなどの要因もあり、目標にはやや到達しませんでした。 ・適切な給水装置工事の施工技術確保に向け、自主学習用資料を修正しました。 給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術向上及び意欲高揚を目的とした優良工事店表彰を実施しました。(19件:18社)				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	講習会参加要請、講習内容の適宜見直し		1点		講習会参加要請、講習内容の適宜見直し		1点		講習会参加要請、講習内容の適宜見直し		1点	
	指定給水装置工事事業者表彰の実施		1点		指定給水装置工事事業者表彰の実施		1点		指定給水装置工事事業者表彰の実施		1点	
	平均 (A)	1.0点			平均 (A)	1.0点			平均 (A)	1.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)
給水装置に係る事故 件数	0件	0件	0件	0件	100%	3点	0件	100%	3点	0件	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)
	—	—	—	—	—	3点	—	—	3点	—	—	3点
指定給水装置工事業 者講習会参加率	前年度以上	前年度以上	79.0%	75.0%	96.2%	3点	65.2%	86.9%	2点	77.5%	98.1%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)
	—	—	—	—	—	3点	—	—	3点	—	—	3点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	指定給水装置工事業者講習会の講習内容は、指定工事業者の施工技術向上に資するべく、水道法改正の内容など、最近の情報を盛り込んで作成しました。 優良工事店表彰については、施行内容が優れた工事業者19社に対し、支障なく実施しました。 運営経費に契約差益が生じたこともあり、結果として予算効率評価が上昇しました。			コロナウイルス感染防止のため、新潟会場を除く他会場での開催が中止となった影響もあり、講習会参加率は目標未達となったものの、例年同様、指定工事業者の施工技術向上に資するべく、更新制度の実施内容等、最近の話題も盛り込み講習会を実施しました。 優良工事店表彰については、施行内容が優れた工事業者20社に対し、支障なく実施しました。			指定給水装置工事業者講習会に代わる自主学習テキストの郵送に際しては、指定工事業者の施工技術向上に資するべく、最近の情報を盛り込んで作成しました。 優良工事店表彰については、コロナウイルス感染防止対策の観点から、表彰式は例年のような集合形式ではなく個別対応とし、施行内容が優れた工事業者18社に対し、実施しました。 なお、表彰式の実施形態が変更となったことにより、予算執行額は減少しました。	
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	3点	C	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点		7点/10点	外的要因加点		0点	6点/10点	
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	講習会や表彰制度にあっては、業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を図ることを目的に実施しており、これらの取り組みは給水装置工事における事故防止にも繋がります。 よって当該取組は、今後も継続的に実施していきます。			講習会や表彰制度にあっては、業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を図ることを目的に実施しており、これらの取り組みは給水装置工事における事故防止にも繋がります。 よって当該取組は、今後も継続的に実施していきます。			講習会や表彰制度にあっては、業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を図ることを目的に実施しており、これらの取り組みは給水装置工事における事故防止にも繋がります。 よって当該取組は、今後も継続的に実施していきます。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点		6点/10点	外的要因加点		0点	6点/10点	

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	Ⅲ	水道施設の計画的更新	事業・取組名	Ⅲ-1	浄水水施設の計画的更新	所管課	計画整備課
----	---	------------	--------	-----	-------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	浄水処理・送配水機能の信頼性と安定性を維持していくため、老朽化した設備を計画的に更新するとともに、水需要の減少を踏まえて設備能力を見直し、施設規模の適正化を図ります。また、更新に併せて、環境負荷の低減や維持管理性の向上に配慮した整備を進めます。					
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年		令和2年		
	浄水場毎に実施する大規模な整備事業を中心に、各施設の老朽化した設備を更新します。 【阿賀野川浄水場施設整備事業】平成27～31年度 【配水場施設整備事業】平成28～32年度 【個別整備】各施設の経年劣化した個別の設備状況に合わせ、計画的な更新及び施設整備を実施	浄水場毎に実施する大規模な整備事業を中心に、各施設の老朽化した設備を更新します。 【阿賀野川浄水場施設整備事業】平成27～31年度 【配水場施設整備事業】平成28～32年度 【個別整備】各施設の経年劣化した個別の設備状況に合わせ、計画的な更新及び施設整備を実施		浄水場毎に実施する大規模な整備事業を中心に、各施設の老朽化した設備を更新します。 【配水場施設整備事業】平成28～令和2年度 【個別整備】各施設の経年劣化した個別の設備状況に合わせ、計画的な更新及び施設整備を実施 【設計業務】 ・巻浄水場施設整備へ向けた実施設計業務 ・青山浄水場施設整備へ向けた実施設計業務 ・満願寺系配水場施設整備へ向けた実施設計業務		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年			令和2年		
	予算額 (a)	2,011,000,000			720,150,000			862,493,000		
	執行額 (b)	2,063,525,000			953,992,000			782,487,000		
	執行率 (%) (b) / (a)	103%			132%			91%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年	対目標	目標	令和2年	対目標
	総作業量 (c)	7.0人	7.0人/年	100%	6.2人	6.2人/年	100%	6.2人	6.2人/年	100%
	担当者数									
	期間 (d)	1年	1年	1年	1年	1年	1年	1年	1年	1年
従事期間										
単位あたりの 作業量 (c/d)	7.0人/年	7.0人/年	6.2人/年	6.2人/年	6.2人/年	6.2人/年	6.2人/年	6.2人/年	6.2人/年	
1年間の従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年			令和2年				
	◆阿賀野川浄水場施設整備事業 ・ポンプ場築造工事の実施（平成29年度完了） ・電気設備更新工事の実施（平成31年度完了予定） ・自家発電設備更新工事の実施（平成30年度完了予定） ・監視制御設備更新工事の実施（平成31年度完了予定） ・ポンプ設備更新工事の実施（平成30年度完了予定） ・粉末活性炭注入設備更新工事の実施（平成30年度完了予定） ◆配水場施設整備事業 ・内野配水ポンプ電気設備更新工事の実施（平成29年度完了） ・竹尾配水ポンプ電気設備更新工事の実施（平成30年度完了予定） ・南浜電気設備更新工事の実施（平成32年度完了予定）	◆阿賀野川浄水場施設整備事業 ・自家発電設備、ポンプ設備、粉末活性炭注入設備更新工事の実施（平成30年度完了） ・電気設備、監視制御設備更新工事の実施（平成31年度完了予定） ◆配水場整備事業 ・竹尾配水ポンプ電気設備更新工事の実施（平成30年度完了） ・南浜電気設備、配水場監視制御設備、内島見配水ポンプ電気設備、南浜ポンプ設備、内島見ポンプ設備更新工事の実施（平成32年度完了予定） ◆経年劣化した設備の個別整備			◆阿賀野川浄水場施設整備事業 ・電気設備、監視制御設備更新工事の実施（令和元年度完了） ◆配水場整備事業 ・南浜電気設備、配水場監視制御設備、内島見配水ポンプ電気設備、南浜ポンプ設備、内島見ポンプ設備、内野監視制御設備更新工事の実施（令和2年度完了予定） ◆経年劣化した設備の個別整備 ※阿賀野川施設整備事業は継続費で予算を編成しており、今年度は過年度繰り越し分を執行したことにより、執行率が大幅に上昇しました。事業は計画通り5か年で完了しました。			◆配水場施設整備事業（事業完了） ・監視制御設備更新工事（竹尾、南浜、内島見、内野） ・遠方監視制御設備機能増設工事（南浜） ・監視制御設備機能増設工事（内野） ・電気設備更新工事（南浜） ・配水ポンプ電気設備更新工事（内島見） ・ポンプ設備更新工事（南浜、内島見） ・緊急遮断弁機能増設工事（内野） ◆経年劣化した設備の個別整備 ◆各施設整備に向けた設計業務				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	◆配水場施設整備事業	阿賀野川浄水場整備事業	1点		阿賀野川浄水場整備事業	1点			配水場整備事業		1点	
		配水場整備事業	1点		配水場整備事業	1点						
平均 (A)	1.0点			平均 (A)	1.0点			平均 (A)	1.0点			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年			令和2年		
	平成30年	令和元年	令和2年	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)
阿賀野川浄水場 施設整備事業	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	実施	実施	-	実績	3点		実施	3点		-	-	-
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	-
	-	-	-	-	3点		-	3点		-	-	-
配水場施設整備事業	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実績	3点		実施	3点		実績	3点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	-	-	-	-	3点		-	3点		-	-	3点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年			令和2年		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆阿賀野川浄水場施設整備事業 自家発電設備、ポンプ設備、粉末活性炭注入設備更新工事は予定通り完了しました。電気設備、監視制御設備更新は予定通り工事を進めています。 ◆配水場施設整備事業 竹尾配水ポンプ電気設備更新工事は予定通り完了しました。監視制御設備更新工事、内島見配水ポンプ電気設備更新工事、南浜ポンプ設備更新工事、内島見ポンプ設備更新工事を計画通り発注し、工事に着手しました。南浜電気設備更新工事は予定通り工事を進めています。 ◆個別整備 計画通り工事を進めています。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆阿賀野川浄水場施設整備事業 電気設備、監視制御設備更新は予定通り実施し整備事業が完了しました。 ◆配水場施設整備事業 南浜電気設備更新工事、監視制御設備更新工事、内島見配水ポンプ電気設備更新工事、南浜ポンプ設備更新工事、内島見ポンプ設備更新工事は予定通り工事を進めています。内野監視設備更新工事は計画通り発注し、工事に着手しました。 ◆個別整備 計画通り工事を進めています。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆配水場施設整備事業 監視制御設備更新工事（竹尾、南浜、内島見、内野）、遠方監視制御設備機能増設工事（南浜）、監視制御設備機能増設工事（内野）、電気設備更新工事（南浜）、配水ポンプ電気設備更新工事（内島見）、ポンプ設備更新工事（南浜、内島見）、緊急遮断弁機能増設工事（内野）は予定通り実施し、整備事業が完了しました。 ◆個別整備 計画通り工事を進めています。 		
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率	2点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<p>水需要の減少を踏まえた施設規模の適正化を図るとともに、浄配水施設の信頼性と安定性を維持していくため、老朽化した設備を計画的かつ効率的に更新する必要があります。</p> <p>阿賀野川浄水場及び配水場施設整備事業は、昨年度に引続き稼働施設の安全確保を最優先として、計画通りの確実な施工管理を行います。</p>			<p>水需要の減少を踏まえた施設規模の適正化を図るとともに、浄配水施設の信頼性と安定性を維持していくため、老朽化した設備を計画的かつ効率的に更新する必要があります。</p> <p>阿賀野川浄水場施設整備事業は5か年の継続事業が完了しました。配水場施設整備事業は、昨年度に引続き稼働施設の安全確保を最優先として、計画通りの確実な施工管理を行います。</p>			<p>水需要の減少を踏まえた施設規模の適正化を図るとともに、浄配水施設の信頼性と安定性を維持していくため、老朽化した設備を計画的かつ効率的に更新する必要があります。</p> <p>配水場施設整備事業は5か年の継続事業が完了しました。個別整備については引続き計画通りの確実な施工を行います。</p>		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
	予算規模が大きく、水道システム維持の根幹であることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。	阿賀野川浄水場施設整備事業が完了したことを確認した。予算規模が大きく、水道システム維持の根幹であることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。	阿賀野川浄水場施設整備事業が完了したことを確認した。予算規模が大きく、水道システム維持の根幹であることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	Ⅲ	水道施設の計画的更新	事業・取組名	Ⅲ-2	管路施設の計画的更新	所管課	計画整備課
----	---	------------	--------	-----	------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	漏水事故の未然防止を図り、安定給水を確保するため、アセットマネジメント手法を取り入れ、更新周期を設定し、老朽化した管路施設（基幹管路・配水支管）を計画的に更新します。					
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～36年度 59.7 km 平成30年度 3,300m（中期実施計画より） 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～36年度 239.7 km 平成30年度 13,500m（中期実施計画より）		基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度 59.7 km 令和元年度 2,000m（中期実施計画より） 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度 239.7 km 令和元年度 13,100m（中期実施計画より）		基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度 59.7 km 令和2年度 2,000m（中期実施計画より） 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度 239.7 km 令和2年度 13,500m（中期実施計画より）	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	4,609,721,600			4,660,011,600			5,009,263,000		
	執行額 (b)	4,731,122,992			4,488,218,365			5,534,816,551		
	執行率 (%) (b) / (a)	103%			96%			110%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c)	31.53人	30.65人	97%	31.13人	31.75人	102%	34.46人	33.09人	96%
	担当者数									
	期間 (d)	1年	1年		1年	1年		1年	1年	
	対応期間									
単位あたりの作業量 (c/d)	31.53人/年	30.65人/年		31.13人/年	31.75人/年		34.46人/年	33.09人/年		
対応期間あたり従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度			令和2年度				
	◆工事発注延長 (注) 基幹管路更新事業 更新延長 3,193m 2,840m (予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 15,617m 14,079m (予算時計画長) ※既設管路ルートでの更新が困難なため、別ルートによる更新を行った結果、延長が増えています。	◆工事発注延長 (注) 基幹管路更新事業 更新延長 3,269m 3,310m (予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 14,589m 13,532m (予算時計画長) ◆工事竣工延長 (前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 4,022m 配水支管更新事業 更新延長 14,938m (注)：事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理しています。			◆工事発注延長 (注) 基幹管路更新事業 更新延長 4,495m 5,080m (予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 13,444m 12,963m (予算時計画長) ◆工事竣工延長 (前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 3,240m 配水支管更新事業 更新延長 12,462m (注)：事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理しています。			◆工事発注延長 (注) 基幹管路更新事業 更新延長 3,897m 4,600m (予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 12,884m 11,570m (予算時計画長) ◆工事竣工延長 (前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 4,830m 配水支管更新事業 更新延長 11,938m (注)：事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理しています。				
	◆工事竣工延長 (前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 4,388m 配水支管更新事業 更新延長 17,090m (注)：事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理しています。	予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~	予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~	予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~		
		基幹管路更新事業	1点		基幹管路更新事業	2点		基幹管路更新事業	2点			
		配水支管更新事業	1点		配水支管更新事業	1点		配水支管更新事業		0点		
		平均 (A)	1.0点			平均 (A)	1.5点			平均 (A)	1.0点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度				令和元年度				令和2年度			
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	実績(D)		達成度(D/B)		外的要因		実績(D)		達成度(D/B)		外的要因	
基幹管路更新延長 <small>※評価指標の延長は 発注延長(計画値)を使用</small>	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因		実績(D)	達成度(D/B)	外的要因		実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	
	3,300m	2,000m	2,000m	3,269m	99%	3点		4,495m	225%	5点		3,897m	194.9%	5点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点
配水支管更新延長 <small>※評価指標の延長は 発注延長(計画値)を使用</small>	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因		実績(D)	達成度(D/B)	外的要因		実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	
	13,500m	13,100m	13,500m	14,589m	108%	4点		13,444m	103%	4点		12,884m	95.4%	3点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因		実績(D)	達成度(D/B)	外的要因		実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)				実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因		実績(D)	達成度(D/B)	外的要因		実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)				実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因		実績(D)	達成度(D/B)	外的要因		実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)				実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		

■評価結果

所管評価	平成30年度				令和元年度				令和2年度			
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	新マスタープラン中期実施計画の見直しにより、市街地の工事に集中することで、基幹管路更新・配水支管更新は予定通りの工事発注を行いました。				漏水による影響が大きい市街地に工事が集中しているため、事前の試掘調査を実施し計画の実現性を高め、予定の工事発注を行うことによって目標通りの事業量で効率的に達成しました。				漏水による影響が大きい市街地に工事が集中していますが、引き続き事前の試掘調査を実施し計画の実現性を高めたことで、目標の事業量を効率的に達成することができました。			
評価結果	予算効率	2点	総合評価		予算効率	3点	総合評価		予算効率	2点	総合評価	
評価の観点・結果	作業効率	3点	C		作業効率	2点	C		作業効率	3点	C	
	外的要因加点	0点	5点/10点		外的要因加点	0点	5点/10点		外的要因加点	0点	5点/10点	
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	漏水による影響が大きい市街地の老朽管更新を進めることにより漏水事故の未然防止を図りました。今後も計画的に事業を進めていきます。				新マスタープラン中期実施計画の見直しにより、漏水による影響が大きい市街地の老朽管更新を進め、漏水事故の未然防止を図りました。基幹管路更新については、既設管ルートでの更新が困難なため一部別ルートでの布設となり発注延長が増加しました。また、基幹管路更新は複数年で実施することから、中期実施計画全体のなかで目標値を確実に達成してまいります。				新マスタープラン中期実施計画の見直しにより、漏水による影響が大きい市街地の老朽管更新を進め、漏水事故の未然防止を図りました。基幹管路更新については、既設管ルートでの更新が困難なため一部別ルートでの布設となり発注延長が増加しました。また、配水支管更新は、中期実施計画全体のなかで目標値を達成しています。			
評価結果	達成度	4点	総合評価		達成度	5点	総合評価		達成度	4点	総合評価	
評価の観点・結果	進捗度	4点	B		進捗度	5点	A		進捗度	5点	A	
	外的要因加点	0点	8点/10点		外的要因加点	0点	10点/10点		外的要因加点	0点	9点/10点	

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	予算規模が大きく、水道システム維持の根幹であることから、優先順位を定め計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。	水道システム維持の根幹をなす事業であることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。	予算規模が大きく、水道システム維持の根幹をなす事業であることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	Ⅲ	水道施設の計画的更新	事業・取組名	Ⅲ-3	鉛給水管の計画的更新	所管課	管路課
----	---	------------	--------	-----	------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	鉛給水管を更新し給水管の耐震化および漏水の未然防止を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	鉛給水管が分岐している配水支管（小口径老朽管：主に口径50mmのビニル管、鋼管）の更新により効果的に鉛給水管の解消を図ります。また、戸別の鉛給水管の更新は鉛管使用密度の高い地域から解消していきます。 ・小口径老朽管更新（ガス工事競合） ・小口径老朽管更新（局単独工事） ・他工事に関連する鉛給水管更新（下水道工事等） ・鉛給水管更新（戸別） ・検定満期メータの取替に伴う更新	鉛給水管が分岐している配水支管（小口径老朽管：主に口径50mmのビニル管、鋼管）の更新により効果的に鉛給水管の解消を図ります。また、戸別の鉛給水管の更新は鉛管使用密度の高い地域から解消していきます。 ・小口径老朽管更新（ガス工事競合） ・小口径老朽管更新（局単独工事） ・他工事に関連する鉛給水管更新（下水道工事等） ・鉛給水管更新（戸別） ・検定満期メータの取替に伴う更新	鉛給水管が分岐している配水支管（小口径老朽管：主に口径50mmのビニル管、鋼管）の更新により効果的に鉛給水管の解消を図ります。また、戸別の鉛給水管の更新は鉛管使用密度の高い地域から解消していきます。 ・小口径老朽管更新（ガス工事競合） ・小口径老朽管更新（局単独工事） ・他工事に関連する鉛給水管更新（下水道工事等） ・鉛給水管更新（戸別） ・検定満期メータの取替に伴う更新

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	584,322,260			578,467,260			587,800,000		
	執行額 (b)	558,830,440			410,664,609			478,129,862		
	執行率 (%) (b) / (a)	96%			71%			81%		
【時間・体制（人員）】 時間（人員）は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c)	10.9人	10.31人		10.0人	9.94人		10.2人	10.18人	
	担当者数									
	期間 (d) 対応期間	1年	1年	95%	1年	1年	99%	1年	1年	99.8%
単位あたりの 作業量 (c/d)	10.9人/年	10.31人/年		10.0人/年	9.94人/年		10.2人/年	10.18人/年		
対応期間あたり 従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度				令和元年度				令和2年度																																																																																																																																							
	鉛製給水管率 5.9%	<table border="1"> <tr><th>施策</th><th>当初見込</th><th>更新数</th><th>実施率</th></tr> <tr><td>① 小口径管鉛給水更新（ガス競合）</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>小口径管鉛給水更新（局単独）</td><td>230</td><td>205</td><td>89.1%</td></tr> <tr><td>連合給水鉛管更新</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>小計</td><td>230</td><td>205</td><td></td></tr> <tr><td>② 他工事給水鉛管更新</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>給水鉛管更新（局単独）</td><td>841</td><td>599</td><td>92.8%</td></tr> <tr><td>メータ取替更新</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>給水装置工事</td><td>350</td><td>506</td><td></td></tr> <tr><td>小計</td><td>1,191</td><td>1,105</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>1,421</td><td>1,310</td><td>92.2%</td></tr> </table>				施策	当初見込	更新数	実施率	① 小口径管鉛給水更新（ガス競合）				小口径管鉛給水更新（局単独）	230	205	89.1%	連合給水鉛管更新				小計	230	205		② 他工事給水鉛管更新				給水鉛管更新（局単独）	841	599	92.8%	メータ取替更新				給水装置工事	350	506		小計	1,191	1,105		計	1,421	1,310	92.2%	<table border="1"> <tr><th>施策</th><th>当初見込</th><th>更新数</th><th>実施率</th></tr> <tr><td>① 小口径管鉛給水更新（ガス競合）</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>小口径管鉛給水更新（局単独）</td><td>230</td><td>112</td><td>48.7%</td></tr> <tr><td>連合給水鉛管更新</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>小計</td><td>230</td><td>112</td><td></td></tr> <tr><td>② 他工事給水鉛管更新</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>給水鉛管更新（局単独）</td><td>808</td><td>424</td><td>79.7%</td></tr> <tr><td>メータ取替更新</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>給水装置工事</td><td>330</td><td>483</td><td></td></tr> <tr><td>小計</td><td>1,138</td><td>907</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>1,368</td><td>1,019</td><td>74.5%</td></tr> </table>				施策	当初見込	更新数	実施率	① 小口径管鉛給水更新（ガス競合）				小口径管鉛給水更新（局単独）	230	112	48.7%	連合給水鉛管更新				小計	230	112		② 他工事給水鉛管更新				給水鉛管更新（局単独）	808	424	79.7%	メータ取替更新				給水装置工事	330	483		小計	1,138	907		計	1,368	1,019	74.5%	<table border="1"> <tr><th>施策</th><th>当初見込</th><th>更新数</th><th>実施率</th></tr> <tr><td>① 小口径管鉛給水更新（ガス競合）</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>小口径管鉛給水更新（局単独）</td><td>210</td><td>129</td><td>61.4%</td></tr> <tr><td>連合給水鉛管更新</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>小計</td><td>210</td><td>129</td><td></td></tr> <tr><td>② 他工事給水鉛管更新</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>給水鉛管更新（局単独）</td><td>626</td><td>368</td><td>89.7%</td></tr> <tr><td>メータ取替更新</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>給水装置工事</td><td>310</td><td>472</td><td></td></tr> <tr><td>小計</td><td>936</td><td>840</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>1,146</td><td>969</td><td>84.6%</td></tr> </table>				施策	当初見込	更新数	実施率	① 小口径管鉛給水更新（ガス競合）				小口径管鉛給水更新（局単独）	210	129	61.4%	連合給水鉛管更新				小計	210	129		② 他工事給水鉛管更新				給水鉛管更新（局単独）	626	368	89.7%	メータ取替更新				給水装置工事	310	472		小計	936	840		計	1,146	969	84.6%
	施策	当初見込	更新数	実施率																																																																																																																																													
	① 小口径管鉛給水更新（ガス競合）																																																																																																																																																
	小口径管鉛給水更新（局単独）	230	205	89.1%																																																																																																																																													
	連合給水鉛管更新																																																																																																																																																
	小計	230	205																																																																																																																																														
	② 他工事給水鉛管更新																																																																																																																																																
	給水鉛管更新（局単独）	841	599	92.8%																																																																																																																																													
	メータ取替更新																																																																																																																																																
給水装置工事	350	506																																																																																																																																															
小計	1,191	1,105																																																																																																																																															
計	1,421	1,310	92.2%																																																																																																																																														
施策	当初見込	更新数	実施率																																																																																																																																														
① 小口径管鉛給水更新（ガス競合）																																																																																																																																																	
小口径管鉛給水更新（局単独）	230	112	48.7%																																																																																																																																														
連合給水鉛管更新																																																																																																																																																	
小計	230	112																																																																																																																																															
② 他工事給水鉛管更新																																																																																																																																																	
給水鉛管更新（局単独）	808	424	79.7%																																																																																																																																														
メータ取替更新																																																																																																																																																	
給水装置工事	330	483																																																																																																																																															
小計	1,138	907																																																																																																																																															
計	1,368	1,019	74.5%																																																																																																																																														
施策	当初見込	更新数	実施率																																																																																																																																														
① 小口径管鉛給水更新（ガス競合）																																																																																																																																																	
小口径管鉛給水更新（局単独）	210	129	61.4%																																																																																																																																														
連合給水鉛管更新																																																																																																																																																	
小計	210	129																																																																																																																																															
② 他工事給水鉛管更新																																																																																																																																																	
給水鉛管更新（局単独）	626	368	89.7%																																																																																																																																														
メータ取替更新																																																																																																																																																	
給水装置工事	310	472																																																																																																																																															
小計	936	840																																																																																																																																															
計	1,146	969	84.6%																																																																																																																																														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~																																																																																																																																					
	① 4条予算事業			0点	① 4条予算事業			0点	① 4条予算事業			0点																																																																																																																																					
	② 3条予算事業		1点		② 3条予算事業			0点	② 3条予算事業			0点																																																																																																																																					
	平均 (A)	0.5点			平均 (A)	0.0点			平均 (A)	0.0点																																																																																																																																							

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度									
鉛給水管率	目標 (B)	目標 (B)	目標 (B)	実績 (D)	達成度 (B/D)	外的要因 加点	実績 (D)	達成度 (B/D)	外的要因 加点	実績 (D)	達成度 (B/D)	外的要因 加点
	前年度以下	前年度以下	3.6%以下	5.5%	94.5%	3点	5.1%	107.3%	4点	4.8%	66.7%	1点
	目標累計 (C)	目標累計 (C)	目標累計 (C)	実績累計 (E)	進捗度 (E/C)	1点	実績累計 (E)	進捗度 (E/C)	0点	実績累計 (E)	進捗度 (E/C)	1点
	—	—	—	—	—	3点	—	—	4点	—	—	1点
	目標 (B)	目標 (B)	目標 (B)	実績 (D)	達成度 (B/D)	外的要因 加点	実績 (D)	達成度 (B/D)	外的要因 加点	実績 (D)	達成度 (B/D)	外的要因 加点
	目標累計 (C)	目標累計 (C)	目標累計 (C)	実績累計 (E)	進捗度 (E/C)		実績累計 (E)	進捗度 (E/C)		実績累計 (E)	進捗度 (E/C)	
	目標 (B)	目標 (B)	目標 (B)	実績 (D)	達成度 (B/D)	外的要因 加点	実績 (D)	達成度 (B/D)	外的要因 加点	実績 (D)	達成度 (B/D)	外的要因 加点
	目標累計 (C)	目標累計 (C)	目標累計 (C)	実績累計 (E)	進捗度 (E/C)		実績累計 (E)	進捗度 (E/C)		実績累計 (E)	進捗度 (E/C)	
	目標 (B)	目標 (B)	目標 (B)	実績 (D)	達成度 (B/D)	外的要因 加点	実績 (D)	達成度 (B/D)	外的要因 加点	実績 (D)	達成度 (B/D)	外的要因 加点
	目標累計 (C)	目標累計 (C)	目標累計 (C)	実績累計 (E)	進捗度 (E/C)		実績累計 (E)	進捗度 (E/C)		実績累計 (E)	進捗度 (E/C)	
	目標 (B)	目標 (B)	目標 (B)	実績 (D)	達成度 (B/D)	外的要因 加点	実績 (D)	達成度 (B/D)	外的要因 加点	実績 (D)	達成度 (B/D)	外的要因 加点
	目標累計 (C)	目標累計 (C)	目標累計 (C)	実績累計 (E)	進捗度 (E/C)		実績累計 (E)	進捗度 (E/C)		実績累計 (E)	進捗度 (E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	鉛給水管の更新は、他工事と併せ実施することによる費用の縮減や、鉛管密度の高い地域から更新を進めることで効率化を図っていますが、鉛管更新の進捗により鉛管密度は当初見込以上に漸次低減しており、今年度から検定満期メータの取替に併せ、鉛給水管の更新を行うなど、新たな取り組みを実施したものの、今年度も当初目標を下回る結果となりました。 なお、前述のとおり、他工事(下水道・ガス)の減少及び鉛管密度の低下(目標作成時当0.8件/10m⇒H30決算値0.58件/10m)により、当初見込み以上に工事実施数が減少するなど、外的要因で効率性の低下が生じたため、加点を行うものです。			鉛給水管の更新は、他工事と併せ実施することによる費用の縮減や、鉛管密度の高い地域から更新を進めることで効率化を図っていますが、昨年来からの労務費や諸経費率等の工事費用の高騰に加え、当初見込以上に鉛管更新の進捗による鉛管密度の低減が進んでおり、昨年度から検定満期メータの取替に併せ、鉛給水管の更新を行う取り組みを実施しているものの、更新数が当初見込みを下回る結果となりました。			鉛給水管の更新は、他工事と併せ実施することによる費用の縮減や、鉛管密度の高い地域から更新を進めることで効率化を図っていますが、労務費や諸経費率等の工事費用の高騰に加え、鉛管設置場所が見込以上に分散していたことに伴う鉛管密度低減のため、平成30年度から検定満期メータの取替に併せ、鉛給水管の更新を行う取り組みを実施しているものの、更新数が当初見込みを下回る結果となりました。		
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	2点	C	作業効率	2点	C	作業効率	2点	C
	外的要因加点	1点	5点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	鉛給水管の更新は漏水事故の未然防止や有収率向上の観点から継続して実施する必要があることから、引き続き他工事関連や、小口径老朽管(主に口径50mmのビニル管、鋼管)の解消を推進するとともに、戸別の鉛給水管は鉛管密度の高い地域から解消を進めます。			鉛給水管の更新は漏水事故の未然防止や有収率向上の観点から継続して実施する必要があることから、引き続き他工事関連や、小口径老朽管(主に口径50mmのビニル管、鋼管)の解消を推進するとともに、戸別の鉛給水管は鉛管密度の高い地域から解消を進めます。			鉛給水管の更新は漏水事故の未然防止や有収率向上の観点から継続して実施する必要があることから、引き続き他工事関連や、小口径老朽管(主に口径50mmのビニル管、鋼管)の解消を推進するとともに、戸別の鉛給水管は鉛管密度の高い地域から解消を進めます。 なお、労務費や諸経費率等の工事費用の高騰、及び、鉛管密度の低減化により、当初見込んでいた件数を下回る更新環境が生じたため、加点を行うものです。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	1点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	4点	B	進捗度	1点	D
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	1点	3点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV-1	浄配水施設の計画的耐震化	所管課	計画整備課
----	----	------------	--------	------	--------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	大規模地震が発生した場合でも、影響を最小限にとどめ、水道システムとして機能を損なうことのないよう、浄配水施設整備に併せ、効率的に浄配水施設等の耐震化を進めます。					
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度		令和元年		令和2年	
	耐震補強実施予定施設 平成27～36年度 【建築物】2施設 ・戸頭浄水場（脱水機棟、沈澱池、ろ過池上屋） 【土木構造物】13施設 ・青山浄水場（配水池、洗浄水槽）・阿賀浄水場（配水池、洗浄水槽） ・満願寺浄水場（沈砂池）・戸頭浄水場（配水池）・巻浄水場（ろ過池） ・その他（取水場、配水場等5施設） 【構内水管】 ・取水場、浄水場、配水場		耐震補強実施予定施設 平成27～36年度 【建築物】2施設 ・戸頭浄水場（脱水機棟、沈澱池、ろ過池上屋） 【土木構造物】13施設 ・青山浄水場（配水池、洗浄水槽）・阿賀浄水場（配水池、洗浄水槽） ・満願寺浄水場（沈砂池）・戸頭浄水場（配水池）・巻浄水場（ろ過池） ・その他（取水場、配水場等5施設） 【構内水管】 ・取水場、浄水場、配水場 【平成31年度】 ・阿賀野川浄水場（配水池）耐震化工事（構内水管含む）「平成31年度完了」		耐震補強実施予定施設 平成27～令和6年度 【建築物】2施設 ・戸頭浄水場（脱水機棟、沈澱池、ろ過池上屋） 【土木構造物】13施設 ・青山浄水場（配水池、洗浄水槽）・阿賀浄水場（配水池、洗浄水槽） ・満願寺浄水場（沈砂池）・戸頭浄水場（配水池）・巻浄水場（ろ過池） ・その他（取水場、配水場等5施設） 【構内水管】 ・取水場、浄水場、配水場 【令和2年度】 ・配水場（長峰）配水池の耐震化工事「令和3年度完了」 ・青山浄水場配水池および構内水管耐震化工事の実施設計業務	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年			令和2年		
	予算額 (a)	472,000,000			532,600,000			0 (37,965,000)		
	執行額 (b)	700,149,000			620,409,000			0		
	執行率 (%) (b) / (a)	148%			116%			0%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年	対目標	目標	令和2年	対目標
	総作業量 (c)	0.3人	0.3人/年	100%	1.7人	1.7人/年	100%	1.0人	1.0人/年	100%
	期間 (d)	1年	1年		1年	1年				
	単位あたりの作業量 (c/d)	0.3人/年	0.3人/年		1.7人/年	1.7人/年		1.0人/年	1.0人/年	
	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年				令和2年				
	◆阿賀野川浄水場 ・構内水管の耐震化および配水池耐震補強の実施（平成31年度完了予定） ・沈砂池耐震補強の実施（平成29年度完了） ◆その他 ・青山向け導水管サージタンク（烏屋野小学校脇）転倒対策完了	◆阿賀野川浄水場 ・構内水管の耐震化および配水池耐震補強の実施（平成31年度完了予定） ・構内給水管工事の実施（平成31年度完了予定） ※阿賀野川構内水管耐震化は継続費で予算を編成しており、今年度は過年度繰り越し分を執行したことで、執行率が大幅に上昇しました。			◆阿賀野川浄水場 ・構内水管の耐震化および配水池耐震補強の実施（令和元年度完了） ・構内給水管工事の実施（令和元年度完了） ※阿賀野川構内水管耐震化は継続費で予算を編成しており、今年度は過年度繰り越し分を執行したことで、執行率が上昇しました。工事は計画通り完了しました。				◆長峰配水場配水池の工事着手 ◆設計業務 ・各耐震化に向けた設計業務 ※設計業務委託費用として予算計上していましたが、設計条件に見直しがあったことから、次年度への繰越が発生しました（令和3年度に執行予定）。執行額はありませんでしたが、浄配水施設の耐震化については計画通りに進めています。				
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
						浄配水施設の耐震化		1点		浄配水施設の耐震化		1点	
平均 (A)				平均 (A)		1.0点		平均 (A)		1.0点			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年			令和2年		
	平成30年	令和元年	令和2年	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
【建築物】 (完了数/全計画数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	0/2	0/2	0/2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	-	実績累計(E)	進捗度(E/C)	-	実績累計(E)	進捗度(E/C)	-
	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【土木構造物】 (完了数/全計画数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	3/13	4/13	4/13	-	-	-	4/13施設	100%	3点	4/13施設	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	-	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	3	4	4	-	-	-	4施設完了	100%	3点	4施設完了	100%	3点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年			令和2年		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・構内水管の耐震化および配水池耐震補強を計画通りに進めています。 ・構内給水管工事を計画通り発注し、工事着手しました。 			<ul style="list-style-type: none"> ・構内水管の耐震化および配水池耐震補強を計画通り完了しました。 ・構内給水管工事を計画通り完了しました。 			<ul style="list-style-type: none"> ・長峰配水場配水池の工事に着手しました。 ・各耐震化に向けた設計業務を実施しています。 		
評価結果	予算効率	-	総合評価	予算効率	2点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	-	-	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	-	0点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	大規模地震が発生した場合でも、水道システムとして機能を損なうことのないように浄配水施設の耐震化を進めていく必要があります。今年度は阿賀野川施設整備事業にあわせ、構内水管や配水池の耐震化が完了しました。来年度以降も継続して、浄配水施設の施設整備にあわせ、計画的かつ効率的に耐震補強を実施します。			大規模地震が発生した場合でも、水道システムとして機能を損なうことのないように浄配水施設の耐震化を進めていく必要があります。今年度は阿賀野川施設整備事業にあわせ、構内水管や配水池の耐震化が完了しました。来年度以降も継続して、浄配水施設の施設整備にあわせ、計画的かつ効率的に耐震補強を実施します。			大規模地震が発生した場合でも、水道システムとして機能を損なうことのないように浄配水施設の耐震化を進めていく必要があります。今年度は長峰配水場配水池の耐震化工事に着手し、令和3年度に完了する予定です。来年度以降も継続して、浄配水施設の施設整備にあわせ、計画的かつ効率的に耐震補強を実施します。		
評価結果	達成度	-	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	-	-	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	-	0点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV-2	管路施設の計画的耐震化	所管課	計画整備課
----	----	------------	--------	------	-------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	大規模地震が発生した場合でも、生活や都市活動に必要な水道水をできる限りお客さまに届けられるよう、老朽化管路を地震に強い耐震管へ入れ替え、管路施設の耐震化を進めます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	Ⅲ-2 管路施設の計画的更新に併せ実施 基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～36年度 59.7 k m 平成30年度 3,300m（中期実施計画Ⅲ-2より） 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～36年度 239.7 k m 平成30年度 13,500m（中期実施計画Ⅲ-2より）	Ⅲ-2 管路施設の計画的更新に併せ実施 基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度 59.7 k m 令和元年度 2,000m（中期実施計画Ⅲ-2より） 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度 239.7 k m 令和元年度 13,100m（中期実施計画Ⅲ-2より）	Ⅲ-2 管路施設の計画的更新に併せ実施 基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度 59.7 k m 令和2年度 2,000m（中期実施計画Ⅲ-2より） 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度 239.7 k m 令和2年度 13,500m（中期実施計画Ⅲ-2より）

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	4,609,721,600			4,660,011,600			5,009,263,000		
	執行額 (b)	4,731,122,992			4,488,218,365			5,534,816,551		
	執行率 (%) (b) / (a)	103%			96%			110%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c)	31.53人	30.65人		31.13人	31.75人		34.46人	33.09人	
	担当者数									
	期間 (d) 対応期間	1年	1年	97%	1年	1年	102%	1年	1年	96%
単位あたり の作業量 (c/d)	31.53人/年	30.65人/年		31.13人/年	31.75人/年		34.46人/年	33.09人/年		
対応期間あたり従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	◆工事発注延長 (注) 基幹管路更新事業 更新延長 3,193m 2,840m (予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 15,617m 14,079m (予算時計画長) ※既設管路ルートでの更新が困難なため、別ルートによる更新を行った結果、延長が増えています。	◆工事発注延長 (注) 基幹管路更新事業 更新延長 3,269m 3,310m (予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 14,589m 13,532m (予算時計画長)			◆工事発注延長 (注) 基幹管路更新事業 更新延長 4,389m 5,080m (予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 13,444m 12,963m (予算時計画長)			◆工事発注延長 (注) 基幹管路更新事業 更新延長 3,897m 4,600m (予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 12,884m 11,570m (予算時計画長)		
	◆工事竣工延長 (前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 4,022m 配水支管更新事業 更新延長 14,938m	◆工事竣工延長 (前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 4,022m 配水支管更新事業 更新延長 14,938m			◆工事竣工延長 (前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 3,240m 配水支管更新事業 更新延長 12,462m			◆工事竣工延長 (前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 4,830m 配水支管更新事業 更新延長 11,938m		
	(注) : 事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理しています。	(注) : 事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理しています。			(注) : 事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理しています。			(注) : 事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理しています。		
	◆工事竣工延長 (前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 4,388m 配水支管更新事業 更新延長 17,090m (注) : 事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理しています。	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	基幹管路更新事業	1点		基幹管路更新事業	2点		基幹管路更新事業	2点		
	配水支管更新事業	1点		配水支管更新事業	1点		配水支管更新事業		0点	
	平均 (A)	1.0点		平均 (A)	1.5点		平均 (A)	1.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点
管路耐震適合率 ※ 目標は実施計画で見直さない	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	69.3%	70.0%	70.8%	68.6%	99%	3点	69.0%	99%	3点	69.4%	98%	3点	69.4%	98%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
基幹管路耐震適合率 ※ 目標は実施計画で見直さない	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	63.5%	64.7%	65.9%	63.6%	100%	3点	65.3%	101%	4点	66.7%	101%	4点	66.7%	101%	4点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	新マスタープラン中期実施計画の見直しにより、市街地の工事に集中することで、基幹管路更新・配水管更新は予定通りの工事発注を行いました。			漏水による影響が大きい市街地の工事に集中しているため、事前の試掘調査を実施し計画の実現性を高め、予定の工事発注を行うことにより目標通りの事業量で効率的に達成しました。			漏水による影響が大きい市街地に工事が集中していますが、引き続き事前の試掘調査を実施し計画の実現性を高めたことで、目標の事業量を効率的に達成することができました。		
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	2点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	2点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	管路施設の耐震化については大規模地震が発生した場合でも、生活や都市活動に必要な水道水をできるだけ届けられるよう、断水時に影響の大きい老朽化基幹管路の更新にあわせ、計画的に進めています。			管路施設の耐震化については大規模地震が発生した場合でも、生活や都市活動に必要な水道水をできるだけ届けられるよう、断水時に影響の大きい老朽化基幹管路の更新にあわせ、計画的に進めています。 新マスタープラン中期実施計画は一部見直しを行ったものの、順調に進捗しています。			管路施設の耐震化については大規模地震が発生した場合でも、生活や都市活動に必要な水道水をできるだけ届けられるよう、断水時に影響の大きい老朽化基幹管路の更新にあわせ、計画的に進めています。 新マスタープラン中期実施計画では、概ね目標を達成しています。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
	予算規模が大きく、水道システム維持の根幹であることから、引き続き、計画に沿った事業推進に努めること。	水道システム維持の根幹をなす事業であることから、引き続き、計画的かつ効率的に事業を推進すること。	予算規模が大きく、水道システム維持の根幹をなす事業であることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV-3	重要施設向け配水管の耐震化	所管課	計画整備課
----	----	------------	--------	------	---------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	災害時に早急な対策・復旧計画の策定が求められる行政機関や、被災した市民の生命に係る救急医療施設などの重要施設向け配水管の耐震化を優先的に進め、被災対応の充実を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	重要施設に位置づけた市内の行政機関および救急医療機関への供給ルートである配水管を優先的に耐震管に入れ替えます。 平成27年度～36年度において（中期実施計画で見直し） 行政機関 6 施設 医療機関 1 9 施設に向けた配水管を耐震化 （累計：行政機関 1 4 施設 医療機関 4 2 施設） 平成30年度 医療機関 2 施設（累計：行政機関 8 施設 医療機関 2 6 施設）	重要施設に位置づけた市内の行政機関および救急医療機関への供給ルートである配水管を優先的に耐震管に入れ替えます。 平成27年度～ 令和6年度において（中期実施計画で見直し） 行政機関 6 施設 医療機関 1 9 施設に向けた配水管を耐震化 （累計：行政機関 1 4 施設 医療機関 4 2 施設） 令和元年度 医療機関 1施設（累計：行政機関 8 施設 医療機関 2 7 施設）	重要施設に位置づけた市内の行政機関および救急医療機関への供給ルートである配水管を優先的に耐震管に入れ替えます。 平成27年度～令和6年度において（中期実施計画で見直し） 行政機関 6 施設 医療機関 1 9 施設に向けた配水管を耐震化 （累計：行政機関 1 4 施設 医療機関 4 2 施設） 令和2年度 行政機関1施設、

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	278,000,000			264,000,000			184,000,000		
	執行額 (b)	256,862,210			310,891,062			213,114,000		
	執行率 (%) (b) / (a)	92%			118%			116%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c)	2.03人	1.34人	66%	1.83人	2.09人	114%	1.37人	1.62人	118%
	担当者数									
	期間 (d)	1年	1年		1年	1年		1年	1年	
対応期間										
単位あたり の作業量 (c/d)	2.03人/年	1.34人/年		1.83人/年	2.09人/年		1.37人/年	1.62人/年		
対応期間あたり 従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度			令和2年度				
	◆耐震化完了重要施設数（実際に工事が完了した施設数の累計） ・行政機関 8 施設（H29年度完了） ・医療機関 2 3 施設（H29年度 県立がんセンター新潟病院、信楽園病院 附属有明診療所、聖園病院 完了） ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数※ ・行政機関 0 施設 ・医療機関 4 施設：県立がんセンター新潟病院、信楽園病院 附属有明診療所、聖園病院、山東第二病院（H29年度発注：H30年度へ繰越） ※事業の進捗は、工事の発注により計画管理しています。評価はこの数値により行います。	◆耐震化完了重要施設数（実際に工事が完了した施設数の累計） ・行政機関 8 施設（H30年度 完了） ・医療機関 2 5 施設（H30年度 向陽メディカルクリニック、 山東第二病院完了） ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数※ ・行政機関 0 施設【計 8 施設】 ・医療機関 3 施設【計 2 7 施設】 向陽メディカルクリニック、 白根緑ヶ丘病院（H30年度発注：H31年度へ繰越） とやの中央病院（H30年度発注：3カ年継続） ※事業の進捗は工事の発注により計画管理しています。評価は工事発注施設数により行います。			◆耐震化完了重要施設数（実際に工事が完了した施設数の累計） ・行政機関 9 施設（R元年度 北区役所完了） ・医療機関 2 7 施設（R元年度 舞平クリニック、 白根緑ヶ丘病院完了） ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数※ ・行政機関 1 施設【計 9 施設】 北区役所（移転に伴い計画を前倒して実施） ・医療機関 1 施設【計 2 8 施設】 舞平クリニック ※事業の進捗は工事の発注により計画管理しています。評価は工事発注施設数により行います。 注）とやの中央病院は3カ年で引続き継続（H30年度発注：3カ年継続）			◆耐震化完了重要施設数（実際に工事が完了した施設数の累計） ・行政機関 9 施設 ・医療機関 3 0 施設（R2年度 みどり病院、とやの中央病院、 新潟万代病院 完了） ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数※ ・行政機関 0 施設【計 9 施設】 ・医療機関 3 施設【計 3 1 施設】 みどり病院、 新潟万代病院、 新津信愛病院（R2年度発注：2カ年継続） ※事業の進捗は工事の発注により計画管理しています。評価は工事発注施設数により行います。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
	重要施設向け配水管の耐震化		1点		重要施設向け配水管の耐震化	2点			重要施設向け配水管の耐震化		1点	
	平均 (A)		1.0点		平均 (A)	2.0点			平均 (A)		1.0点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	平成30年	令和元年度	令和2年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
重要施設向け 配水管の耐震化 ※評価指標の進捗は、 工事の発注により行う	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	2施設	1施設	3施設	3施設(見込み)	150%	5点	2施設(見込み)	200%	5点	3施設(見込み)	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
2施設	3施設	6施設	3施設(見込み)	150%	5点		5施設(見込み)	166%		5点	8施設(見込み)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は他工事関連の遅延により、年度内で完了しない施設がありました。しかし、予定された工事については、全て発注しました。 予算執行、人員体制は他工事関連との競合により効率的に事業を発注できました。 			<ul style="list-style-type: none"> 今年度は他工事関連との調整を行い、計画的に業務を進めた結果、予定された工事について全て発注しました。 予算執行、人員体制は他工事との調整に時間を要しましたが、効果的に発注できました。 			<ul style="list-style-type: none"> 今年度は計画的に業務を進めた結果、予定された工事について全て発注しました。 予算執行、人員体制は追加した新潟万代病院や継続工事の調整に費用・時間を要したため、効率面では低い評価となりました。 		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	2点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	B	作業効率	3点	C	作業効率	2点	D
	外的要因加点	0点		7点/10点	外的要因加点		0点	6点/10点	
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 工事の繰越により、年度内で完了しない施設がありました。今後は他工事との調整を密接に行い、繰越が無いよう取り組む必要があります。 重要施設向け配水管の耐震化は、災害時の対策として重要な取り組みであることから、今後も計画的に事業を進めます。 			<ul style="list-style-type: none"> 行政1施設は移転に伴い計画を前倒して実施したことにより増加しました。 重要施設向け配水管の耐震化は、災害時の対策として重要な取り組みであることから、今後も計画的に事業を進めます。 			<ul style="list-style-type: none"> 医療3施設を計画通り発注しました。 新マスタープラン中期実施計画では、計画の前倒しが必要となった施設や追加した施設があり、目標を上回る進捗を達成しています。 重要施設向け配水管の耐震化は、災害時の対策として重要な取り組みであることから、今後も計画的に事業を進めます。 		
評価結果	達成度	5点	総合評価	達成度	5点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	5点	A	進捗度	5点	A	進捗度	5点	B
	外的要因加点	0点		10点/10点	外的要因加点		0点	10点/10点	

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV-4	配水管網のブロック化の推進	所管課	管路課
----	----	------------	--------	------	---------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	事故・災害時の被害範囲の極小化や復旧の迅速化を図るため、配水幹線の更新や関連事業との整合を図りながら、小ブロック(135ブロック)の構築を行います。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	34年度末までに135の小ブロック構築を完了する ・平成30年度:16小ブロックの構築	4年度末までに135の小ブロック構築を完了する ・令和元年度:3小ブロックの構築	4年度末までに135の小ブロック構築を完了する ・令和2年度:0小ブロックの構築

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	0			0			0		
	執行額 (b)	0			0			0		
	執行率 (%) (b) / (a)	-			-			-		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c) 担当者数	0人	0人	0%	0人	0人	0%	0人	0人	0%
	期間 (d) 対応期間	1年	1年		1年	1年				
	単位あたり の作業量 (c/d) 対応期間あたり従事職員数	0人/年	0人/年		0人/年	0人/年				
	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度				令和2年度				
	小ブロック構築率 81.5%(110/135)	小ブロック構築数 0ブロック ・小ブロック構築率 81.5%(110/135)			小ブロック構築数 0ブロック ・小ブロック構築率 81.5%(110/135)				小ブロック構築数 6ブロック ・小ブロック構築率 85.9%(116/135)				
		小ブロック構築済みの地域に管路整備を集中していることもあり、布設 替えに伴う小ブロックの構築には至りませんでした。			小ブロック構築済みの地域に管路整備を集中していることもあり、布設 替えに伴う小ブロックの構築には至りませんでした。				巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備や中之口川に係る水管橋整備 の進展等に併せて、6ブロックの構築に至りました。				
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
		小ブロック構築数		0点	小ブロック構築数		0点	小ブロック構築数	2点				
		平均 (A)	0.0点			平均 (A)	0.0点				平均 (A)	2.0点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
小ブロック構築率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	93.3%	95.6%	95.6%	81.5%	87.4%	2点	81.5%	85.3%	2点	85.9%	89.9%	2点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	1点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	1点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	1点
	—	—	—	—	—	2点	—	—	2点	—	—	2点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	小ブロック構築のための管路整備は、他の管路整備事業に併せて効率的に実施されるため、事業の性質上、予算の計上及び執行はありませんでした。 平成30年度は、引き続き小ブロック構築済みの地域に管路整備が集中したこともあり、布設替えに伴う小ブロックの構築には至りませんでした。			小ブロック構築のための管路整備は、他の管路整備事業に併せて効率的に実施されるため、事業の性質上、予算の計上及び執行はありませんでした。 令和元年度は、引き続き小ブロック構築済みの地域に管路整備が集中したこともあり、布設替えに伴う小ブロックの構築には至りませんでした。 (市街地の老朽管路の布設替えが喫緊の課題であり、小ブロック構築に優先して整備事業を進める事情がある点も考慮して外的要因加点を行うものです。)			小ブロック構築のための管路整備は、他の管路整備事業に併せて効率的に実施されるものであり、事業の性質上、予算の計上及び執行はありません。 令和2年度は、巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備や中之口川に係る水管橋整備の進展等に併せて、6ブロックの構築に至りました。		
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率	2点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	2点	C	作業効率	2点	C	作業効率	4点	B
	外的要因加点	1点	5点/10点	外的要因加点	1点	5点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	配水管網のブロック化は、事故・災害時における被害範囲の極小化や、迅速な復旧を行うために有効な手段です。 来年度以降についても、当面小ブロック構築済み地域での管路整備が集中する見込みであり、新規の小ブロック構築は厳しい状況が続きます。 市街地の老朽管路の布設替えが喫緊の課題であり、小ブロック構築に優先して整備事業を進める事情がある点も考慮して外的要因加点を行うものです。			配水管網のブロック化は、事故・災害時における被害範囲の極小化や、迅速な復旧を行うために有効な手段ではありますが、来年度以降も、当面小ブロック構築済み地域での管路整備が集中する見込みであり、新規の小ブロック構築は厳しい状況が続きます。 市街地の老朽管路の布設替えが喫緊の課題であり、小ブロック構築に優先して整備事業を進める事情がある点も考慮して外的要因加点を行うものです。			配水管網のブロック化は、事故・災害時における被害範囲の極小化や、迅速な復旧を行うために有効な手段ではありますが、小ブロック構築のための管路整備は、他の管路整備事業に併せて効率的に実施するものと位置付けており、単独での小ブロック構築は実施していないこともあり、結果として目標達成には至りませんでした。 市街地の老朽管路の布設替えが喫緊の課題であり、小ブロック構築より優先して整備事業を進める事情がある点も考慮して外的要因加点を行うものです。		
評価結果	達成度	2点	総合評価	達成度	2点	総合評価	達成度	2点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	2点	C	進捗度	2点	C	進捗度	2点	C
	外的要因加点	1点	5点/10点	外的要因加点	1点	5点/10点	外的要因加点	1点	5点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV-5	大ブロック間の相互連絡管の整備	所管課	管路課
----	----	------------	--------	------	-----------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	事故・災害時のバックアップを目的とし、大ブロック(各浄配水場給水区域)間に相互連絡管を整備し、安定給水の向上を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線φ500mm L=6,880m 整備期間 平成27年度～平成36年度 平成30年度690m 青山浄水場系～南山配水場系連絡管整備 ・φ500mm L=2,030m 整備期間 平成30年度～平成32年度 平成30年度500m	巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線φ500mm L=6,880m 整備期間 平成27年度～令和6(2024)年度 令和元(2019)年度 1,270m 青山浄水場系～南山配水場系連絡管整備 ・φ500mm L=2,030m 整備期間 平成30年度～令和2(2020)年度 令和元(2019)年度 500m	巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線φ500mm L=6,880m 整備期間 平成27年度～令和6(2024)年度 令和2(2020)年度 220m 青山浄水場系～南山配水場系連絡管整備 ・φ500mm L=2,030m 整備期間 平成30年度～令和2(2020)年度 令和2(2020)年度 1,030m

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	535,000,000			878,000,000			732,790,000		
	執行額 (b)	439,375,619			777,051,092			907,081,884		
	執行率 (%) (b) / (a)	82%			89%			124%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c)	1.9人	1.5人		2.5人	2.1人		2.09人	3.3人	
	担当者数									
	期間 (d)	1年	1年	79%	1年	1年	84%	1年	1年	158%
	対応期間									
	単位あたりの作業量 (c/d)	1.9人/年	1.5人/年		2.5人/年	2.1人/年		2.09人/年	3.3人/年	
	対応期間あたり従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度				令和2年度				
	巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線 φ500mm L=1068.7m 青山浄水場系～南山配水場系連絡管整備 ・φ500mm L=511.7m 当初計画に沿って施工しました。	巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・φ500mm L=1,262.7m 当初計画期間内の一部工事について、当年度工事箇所と次年度工事箇所との入替を行ったことにより、結果として当初目標を超える整備延長を施工しました。	巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・φ500mm L=1,095.3m 前年度に工程の組替えを行ったため、今年度は、当初より所期目標値を下回る整備延長の施工を計画せざるを得ず、結果、当初見込んだ整備延長を施工しました。	巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・φ500mm L=702.5m 前々年度から工程の組替えを行った影響で、今年度は、所期目標値を上回る整備延長を施工しました。					青山浄水場系～南山配水場系連絡管整備 ・φ500mm L=782m 今年度予定していた工区の一部を前年度に前倒して発注したこともあり、今年度発注延長は計画を下回ったものの、今年度発注工事をもって、当該整備事業は完了しました。				
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
		連絡管整備延長	2点			連絡管整備延長	2点			連絡管整備延長	2点		
		平均 (A)	2.0点			平均 (A)	2.0点				平均 (A)	2.0点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
相互連絡管整備延長 (巻浄水場系～戸頭浄 水場系連絡管)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	690m	1270m	220m	1262.7m	183.0%	5点	1095.3m	86.2%	2点	702.5m	319.3%	5点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
相互連絡管整備延長 (青山浄水場系～南山 配水場系連絡管)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	500m	500m	1030m	511.7m	102.3%	4点	696.9m	139.4%	5点	782m	75.9%	1点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	現場環境が良好(地方部)で作業効率が高いことに加え、巻浄水場～戸頭浄水場間の整備事業において、河川管理者との調整等から、当初計画期間内の一部工事について、当年度工事箇所と次年度工事箇所との入替を行い、結果として計画以上の伸長が生じました。			巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備については、今年度は、前年度に工程の組替えを行った影響もあり、当初計画数値には及ばないものの、予定していた工事は円滑に進捗し、実績累計値においては、目標を上回る結果を得ることができました。 また、青山浄水場系～南山配水場系連絡管整備については、次年度計画していた工区の一部を併せて発注したこともあり、結果として計画以上の伸長が生じました。			巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備については、前々年度から工程の組替えを行った影響で、今年度は、所期目標値を上回る整備延長を施工し、実績累計値においては、目標を上回る結果を得ることができました。 また、青山浄水場系～南山配水場系連絡管整備については、当初計画どおり今年度末をもって完了しました。		
評価結果	予算効率	5点	総合評価	予算効率	5点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	5点	A	作業効率	5点	A	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	10点/10点	外的要因加点	0点	10点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	平成20年度から36年度までの17年間を整備期間として設定した連絡管整備事業の内、平成27年度から36年度までの工事の約57%が終了しました。 事故・災害発生時のバックアップ機能を向上させるため、今後も計画に沿って事業を実施していきます。			平成20年度から令和6年度までの17年間を整備期間として設定した巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備事業の内、平成27年度から令和6年度までの工事の約73%が終了しました。 事故・災害発生時のバックアップ機能を向上させるため、今後も計画に沿って事業を実施していきます。			平成20年度から令和6年度までの17年間を整備期間として設定した巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備事業の内、平成27年度から令和6年度までの工事の約83%が終了しました。 事故・災害発生時のバックアップ機能を向上させるため、今後も計画に沿って事業を実施していきます。		
評価結果	達成度	5点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	A	進捗度	5点	A	進捗度	4点	B
	外的要因加点	0点	9点/10点	外的要因加点	0点	9点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
		引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV-6	事故・災害時における復旧体制の強化	所管課	経営管理課
----	----	------------	--------	------	-------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	事故・災害時などの非常時において、迅速かつ確に応急給水する体制や、水道施設を早期に復旧する体制の強化を図るとともに、応急給水設備の整備や、給水や復旧に係る各種災害協定や関係団体・地域住民との連携の強化などをはかります。						
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度			令和元年度		令和2年度	
	各種災害時マニュアルの作成・更新 ・各種災害時マニュアル・計画等の見直し拡充 マニュアルに基づく訓練の実施（局内・関連事業体との連携） 応急給水設備の整備 ・浄水場における給水車専用常設注水設備の整備 ・拠点給水所における住民用応急給水設備の整備 災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業との協力体制構築に向けた調整 ・地域住民との協働体制構築に向けた調整 ・避難所等への非常用給水用具の整備に向けた調整 拠点給水所の周知方法の検討 ・お客さまに対して、拠点給水所の周知方法の検討			各種災害時マニュアルの作成・更新 ・各種災害時マニュアル・計画等の見直し拡充 マニュアルに基づく訓練の実施（局内・関連事業体との連携） 応急給水設備の整備 ・浄水場における給水車専用常設注水設備の整備 ・拠点給水所における住民用応急給水設備の整備 災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業との協力体制構築に向けた調整 ・地域住民との協働体制構築に向けた調整 ・避難所等への非常用給水用具の整備に向けた調整 拠点給水所の周知方法の検討 ・お客さまに対して、拠点給水所の周知方法の検討		各種災害時マニュアルの作成・更新 ・各種災害時マニュアル・計画等の見直し拡充 マニュアルに基づく訓練の実施（局内・関連事業体との連携） 応急給水設備の整備 ・浄水場における給水車専用常設注水設備の整備 ・拠点給水所における住民用応急給水設備の整備 災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業との協力体制構築に向けた調整 ・地域住民との協働体制構築に向けた調整 ・避難所等への非常用給水用具の整備に向けた調整 拠点給水所の周知方法の検討 ・お客さまに対して、拠点給水所の周知方法の検討	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	0			23,855,900			4,840,000		
	執行額 (b)	0			21,420,034			4,650,000		
	執行率 (%) (b) / (a)	-			90%			96%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c) 時間 (h)	33.1	33.1	100%	741.0	741.0	100%	148.3	148.3	100%
	人員 (d) 作業従事職員数	3	3		3	3		3	3	
	単位あたり の作業量 (c/d) h/人	11.0 (ア)	11.0 (イ)	(イ/ア)	247.0 (ア)	247.0 (イ)	(イ/ア)	49.4 (ア)	49.4 (イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度			令和2年度				
	・危機管理マニュアル類の見直しを行い 充実を図りました。 ・災害時における他団体との連携強化と して、①株式会社荏原製作所北陸支 社、②第一環境株式会社、③新潟市 海洋河川文化財団との各種応援協定 の締結を行いました。 ・巻浄水場の住民用応急給水設備 は、隣接する既存施設を活用するこ とで、整備済となりました。 ・地域住民との災害時における連携を図 るため、①南区の自治会、②東区の住 民との応急給水訓練を実施しました。	各種災害時マニュアルの作成・更新 ・マニュアル等を見直し内容の充実を図りました。（寒波修繕対応の手引きなど） マニュアルに基づく訓練の実施 ・局内（対策本部会議運営訓練）及び他事業体（全国訓練、首都直下訓練など）との訓練を 行いました。 災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業と災害時応援協定を締結しました。（2件：新潟企業(株)他3社、新潟県牛乳輸送 (株)） ・地域住民等と連携した応急給水訓練を実施しました。（東区1回、江南区2回、秋葉区1回、 南区1回） 拠点給水所の周知方法の検討・実施 ・周知方法を検討し、その方法の一つとして「にいがた防災アプリ」との連携を図りました。（同アプリハ 水道局HPをリンクした。）			各種災害時マニュアルの作成・更新 ・マニュアル等を見直し内容の充実を図りました。（塩水週上対応マニュアルなど） マニュアルに基づく訓練の実施 ・局内（対策本部会議運営訓練）及び他事業体（情報交換会、技術交流会など）との訓練を 行いました。 応急給水設備の整備 ・阿賀野川浄水場に給水車専用常設注水設備を整備しました。 災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・燕・弥彦総合事務組合水道局と緊急連絡管による相互応援に関する協定を締結しました。 ・地域住民等と連携した応急給水訓練を実施しました。（南区1回） ・緊急連絡管(燕市)を整備しました。（新潟広域都市圏ビジョンに係る連携事業）			各種災害時マニュアルの作成・更新 ・マニュアル等を見直し内容の充実を図りました。（危機事象対応マニュアルなど） マニュアルに基づく訓練の実施 ・局内訓練（地震対応訓練）は実施準備を進めていましたが、悪天候により急遽中止となりました。 ・他事業体（神戸市、名古屋市）とweb会議を用いた訓練を行いました。 応急給水設備の整備 ・戸頭浄水場に給水車専用常設注水設備を整備しました。 災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業と災害時応援協定を締結しました。（水島鉄工(株)、wing他2社、フジコム (株)） 拠点給水所の周知方法の検討 ・拠点給水所の使用可否について課題整理を行いました。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	各種災害時マニュアルの更新		1点		各種災害時マニュアルの更新		1点		各種災害時マニュアルの更新		1点	
	マニュアルに基づく訓練の実施		1点		マニュアルに基づく訓練の実施		1点		マニュアルに基づく訓練の実施		1点	
	災害時の協力体制および連携体制の充実		1点		応急給水設備の整備		1点		応急給水設備の整備	2点		
	拠点給水所の周知方法の検討・実施		1点		災害時の協力体制および連携体制の充実		1点		災害時の協力体制および連携体制の充実		1点	
					拠点給水所の周知方法の検討・実施		1点		拠点給水所の周知方法の検討・実施		1点	
	平均 (A)		1.0点		平均 (A)		1.0点		平均 (A)		1.2点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度				令和元年度				令和2年度			
	平成30年	令和元年度	令和2年度	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因
各種マニュアルの 作成・見直し	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因
	実施	実施	実施	実績	実施	3点	加点	実施	実施	3点	加点	実施	実施	3点	加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点
	-	-	-	-	-	3点		-	-	3点		-	-	3点	
マニュアルに基づく訓練 の実施	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因
	実施	実施	実施	実績	実施	3点	加点	実施	実施	3点	加点	実施	実施	3点	加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点
	-	-	-	-	-	3点		-	-	3点		-	-	3点	
給水車用常設注水 設備の整備	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因
	-	1箇所(阿賀野川)	-	-	-	-	加点	1箇所(阿賀野川)	1箇所	3点	加点	1箇所(戸頭)	1箇所	5点	加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		-	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点
	-	1箇所	-	-	-	-		1箇所	1箇所	3点		2箇所	2箇所	5点	
住民用応急給水設備 の整備	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因
	1箇所(高瀬川)	-	-	-	-	-	加点	-	-	-	加点	-	-	-	加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		-	実績累計(E)	進捗度(E/C)		-	実績累計(E)	進捗度(E/C)		-
	1箇所	-	-	-	-	-		-	-	-		-	-	-	
拠点給水所の周知方 法の検討・実施	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因
	実施	実施	実施	実績	実施	3点	加点	実施	実施	3点	加点	実施	実施	3点	加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点
	-	-	-	-	-	3点		-	-	3点		-	-	3点	

■評価結果

所管評価	平成30年度				令和元年度				令和2年度			
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・予算を伴う取組はありませんでしたが、「取組内容」を計画どおりに実施しました。				・今年度予定されていた取組内容については、計画通り実施され、予算に対する執行額も予定の範囲に収まる金額となりました。				・今年度予定されていた取組内容については、計画通り実施され、予算に対する執行額も予定の範囲に収まる金額となりました。			
評価結果	予算効率	3点	総合評価		予算効率	3点	総合評価		予算効率	3点	総合評価	
評価の観点・結果	作業効率	3点	C		作業効率	3点	C		作業効率	3点	C	
	外的要因加点	0点	6点/10点		外的要因加点	0点	6点/10点		外的要因加点	0点	6点/10点	
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・マニュアルの見直しを行い、災害対応力を向上させました。 ・局内及び他事業体との訓練により、災害時の連携を確認し救援活動の実効性を高めました。 ・民間企業と災害時応援協定を締結し、災害時の協力及び連携体制を強化しました。 ・地域住民と協働した応急給水訓練を行い、災害時の連携を強化しました。 ・「いかに防災アプリ」との連携し、拠点給水所の周知方法を拡充しました。				・マニュアルの見直しを行い、災害対応力を向上させました。 ・局内及び他事業体との訓練により、災害時の連携を確認し救援活動の実効性を高めました。 ・阿賀野川浄水場に給水車常設注水設備を整備し応急給水能力を強化しました。 ・燕・弥彦総合事務組合水道局と緊急連絡網による相互応援に関する協定を締結し、災害時の協力及び連携体制を強化しました。 ・地域住民と協働した応急給水訓練を行い、災害時の連携を強化しました。				・マニュアルの見直しを行い、災害対応力を向上させました。 ・局内訓練は中止となりましたが、事前準備の過程から次年度に向けた課題等を整理することができました。 ・他事業体との訓練により、災害時の連携を確認し救援活動の実効性を高めました。 ・戸頭浄水場に給水車常設注水設備を整備し応急給水能力を強化しました。 ・民間企業と災害時応援協定を締結し、災害時の協力及び連携体制を強化しました。			
評価結果	達成度	3点	総合評価		達成度	3点	総合評価		達成度	4点	総合評価	
評価の観点・結果	進捗度	3点	C		進捗度	3点	C		進捗度	4点	B	
	外的要因加点	0点	6点/10点		外的要因加点	0点	6点/10点		外的要因加点	0点	8点/10点	

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、各種災害時の対応や復旧体制については、マニュアル類の継続的な点検・改善や訓練の定期実施等を通して、発生時に有効に機能するように努めること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大状況を鑑み、感染症流行下における水道事業の継続及び安定した事業運営のために、各種計画やマニュアルの策定・改訂、物資調達ルートの確保や備蓄等、必要に応じて適切な対応を講じること。また、各種災害時の対応や復旧体制については、マニュアル類の継続的な点検・改善や訓練の定期実施を通して、発生時に有効に機能するように努めること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、各種計画やマニュアルの継続的な点検・改善や訓練の定期実施を通して、発生時に有効に機能するように努めること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	V経営基盤の強化	事業・取組名	V-1	アセットマネジメントによる適正な資産管理	所管課	計画整備課
----	---	----------	--------	-----	----------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	人口減少に伴い給水収益の大幅な減少が見込まれる中、水道事業を安定して持続していくために、中長期的な視点に立って、施設更新需要の見通しについて検討し、着実な更新投資を行う必要があります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年	令和2年
	施設再編基本構想の策定 長期的な視点に立ち、より効率的な施設整備を進めるため、水需要の減少に応じた施設規模の適正化や施設再構築など、今後の施設整備の方向性を示す構想を策定 【浄配水施設再編基本構想策定業務委託】平成30～31年度	施設再編基本構想の策定 長期的な視点に立ち、より効率的な施設整備を進めるため、水需要の減少に応じた施設規模の適正化や施設再構築など、今後の施設整備の方向性を示す構想を策定 【浄配水施設再編基本構想策定業務委託】平成30～令和元年度	施設整備計画の見直し 施設整備の進捗状況や施設更新需要の見通し、それらに対する課題を踏まえて、財政収支見直しと調整を図りながら、施設整備計画を適宜見直し、後期実施計画へ反映する。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年			令和2年		
	予算額 (a)	0			27,000,000			0		
	執行額 (b)	0			27,000,000			0		
	執行率 (%) (b) / (a)	-			100%			-		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年	対目標	目標	令和2年	対目標
	総作業量 (c) 人	0.6	0.6	100%	0.6	0.6	100%	0.4	0.4	100%
	期間 (d) 年	1	1		1	1		1		
	単位あたりの 作業量 (c/d) 人/年	0.6	0.6		0.6	0.6		0.4	0.4	
	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年			令和2年		
	◆中長期的な更新需要の見直し 更新需要の見直しと財政収支見通しの検討を継続的に行うため、アセットマネジメントワーキンググループで健全度評価手法の検討を進めています。 また、効率的・効果的な施設更新を進めるため、前期での課題を踏まえ、中期以降の整備内容及びスケジュールの見直しを実施しました。	施設再編基本構想の策定 長期的な視点に立ち、より効率的な施設整備を進めるため、水需要の減少に応じた施設規模の適正化や施設の再構築を進める必要があります。今後の施設整備の方向性を示す構想を策定するにあたり、浄配水施設再編基本構想策定業務に着手し、地域別の水需要予測及び施設整備上の課題整理を実施しました。 【浄配水施設再編基本構想策定業務委託】平成30～31年度			施設再編基本構想の策定 長期的な視点に立ち、より効率的な施設整備を進めるため、水需要の減少に応じた施設規模の適正化や施設の再構築を進める必要があります。浄配水施設再編基本構想策定業務委託では、長期的な施設整備方針と施設将来像を明確化し、将来像に向けた合理的な整備工程等を示す長期構想を検討しました。 今後は、この検討結果を踏まえ、具体的な施設整備計画を策定していくこととします。			施設整備計画の見直し 新マスタープラン後期実施計画では、Ⅰ安定給水の維持、Ⅱ長期的視点で強靱化を推進、Ⅲ優先的課題への対応、の3つを基本方針として、施設の課題や健全度、自然災害のリスクを考慮するとともに、効率的な施設整備となるように関連設備の更新時期を踏まえた整備工程を組み、投資の最適化を図りました。		
	◆施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備 今後の資産管理において必要となる情報やその管理方法について、アセットマネジメントワーキンググループで検討を進めています。	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
	浄配水施設再編基本構想策定業務	1点			1点			施設整備計画見直し 1点		
	平均 (A)	1.0点			1.0点			1.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年			令和2年					
	平成30年度	令和元年	令和2年	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因
施設整備計画等の 策定状況	目標(B)	目標(B)	目標(B)	施設整備課題の整理	実施	3点	0点	施設再編基本構想策定	実施	3点	0点	施設整備計画見直し	実施	3点	0点
	施設整備課題の整理	施設再編基本構想策定	施設整備計画見直し	実績累計(E)	進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	-	-	3点		-	-	3点		-	-	3点	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因			
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)				
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因			
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)				
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因			
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)				
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因			
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)				

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年			令和2年		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	浄配水施設再編基本構想策定業務に着手し、施設整備上の課題整理を実施しました。なお、本業務は債務負担行為によるもので、平成30年度の予算計上および執行はありませんでした。			浄配水施設再編基本構想策定業務委託では、当初予定通りの予算及び人員で施設整備の長期的な構想を示すことが出来ました。			当初予定通りの人員で後期実施計画における施設整備計画を策定することができました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	水需要が減少するなか、水道事業を安定して持続していくためには、中長期的な視点に立った施設整備計画を策定する必要があります。今年度着手した浄配水施設再編基本構想策定業務について、来年度以降も計画通り業務を進めていきます。			水需要が減少するなか、水道事業を安定して持続していくためには、中長期的な視点に立った施設整備計画を策定する必要があります。浄配水施設再編基本構想では、長期的な施設整備方針と施設将来像を明確化し、将来像に向けた合理的な整備工程等を示しており、今後はこれを踏まえた具体的な施設整備計画策定を進めていきます。			水需要が減少するなか、水道事業を安定して持続していくためには、中長期的な視点に立った施設整備計画を策定する必要があります。後期実施計画における施設整備計画の検討では、施設の課題や健全度、自然災害のリスクを考慮するとともに、効率的な施設整備となるように関連設備の更新時期を踏まえた整備工程を組み、投資の最適化を図りました。今後は、昨年度に策定した新潟市水道施設整備長期構想2020を踏まえた具体的な施設整備計画の策定に向け検討を進めていきます。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-2	定員・給与の適正化	所管課	総務課
----	---	---------	--------	-----	-----------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	独立採算で運営する水道事業は、最小のコストで最大の効果を得るよう努める必要があります。健全な運営のために求められる人的資源の最適化を常に追求しつつ、事業運営の効率化を推進します。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年	令和2年
	定員の適正化 ・職員数については、再任用職員を含めた定員管理を実施するとともに、引き続き業務の見直しなどを図り、定員の適正化を進めます。 給与の適正化 ・職員給与については、市長事務局および他政令市の状況に準じた見直しを図ります。	定員の適正化 ・職員数については、再任用職員を含めた定員管理を実施するとともに、引き続き業務の見直しなどを図り、定員の適正化を進めます。 給与の適正化 ・職員給与については、市長事務局および他政令市の状況に準じた見直しを図ります。	定員の適正化 ・職員数については、再任用職員を含めた定員管理を実施するとともに、引き続き業務の見直しなどを図り、定員の適正化を進めます。 給与の適正化 ・職員給与については、市長事務局および他政令市の状況に準じた見直しを図ります。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年			令和2年		
	予算額 (a)	0			0			0		
	執行額 (b)	0			0			0		
	執行率 (%) (b) / (a)	-			-			-		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年	対目標	目標	令和2年	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	480時間	480時間	100%	480時間	480時間	100%	480時間	480時間	100%
	期間 (d) (作業従事職員数)	2人	2人		2人	2人		2人		
	単位あたり の作業量 (c/d) (1人あたりの年間作業時間)	240時間 (ア)	240時間 (イ)		240時間 (イ/ア)	240時間 (ア)		240時間 (イ)	240時間 (イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年			令和2年				
	定員の適正化 ・平成29年度より委託する料金収納業務について業務分析を行い、適正な人員を削減しました。 ・年度末職員数 349名 給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部に準じた見直しを適宜実施しました。	定員の適正化 ・再任用職員を含めた定員管理により、適正な人員を配置しました。 ・年度末職員数 350名 給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部に準じた見直しを適宜実施しました。			定員の適正化 ・再任用職員を含めた定員管理により、適正な人員を配置しました。 ・年度末職員数 350名 給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部に準じた見直しを適宜実施しました。			定員の適正化 ・再任用職員を含めた定員管理により、適正な人員を配置しました。 ・年度末職員数 341名 給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部に準じた見直しを適宜実施しました。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	定員の適正化	2点			定員の適正化	2点			定員の適正化	2点		
	給与の適正化		1点		給与の適正化		1点		給与の適正化		1点	
	平均 (A)	1.5点			平均 (A)	1.5点			平均 (A)	1.5点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年			令和2年		
	平成30年	令和元年	令和2年	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
職員数(人)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	350人	101%	4点	350人	101%	4点	341人	103%	4点
	351人以下	351人以下	351人以下	350人	101%	4点	350人	101%	4点	341人	103%	4点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	-	-	-	-	-	4点	-	-	4点	-	-	4点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年			令和2年		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 職員定数については、今後の業務見直しや再任用職員数の増減等を考慮し、次年度体制を見据えた中で、適正に行うことができました。 給与改定については、市長部局の改正に連動して、遅滞なく実施することができました。 <p>(職員定数、給与とも、経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します。)</p>			<ul style="list-style-type: none"> 職員定数については、今後の業務見直しや再任用職員数の増減等を考慮し、次年度体制を見据えた中で、適正に行うことができました。 給与改定については、市長部局の改正に連動して、遅滞なく実施することができました。 <p>(職員定数、給与とも、経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します。)</p>			<ul style="list-style-type: none"> 職員定数については、今後の業務見直しや再任用職員数の増減等を考慮し、次年度体制を見据えた中で、適正に行うことができました。 給与改定については、市長部局の改正に連動して、遅滞なく実施することができました。 <p>(職員定数、給与とも、経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します。)</p>		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 再任用職員を含めた適正な人員管理を実施した結果、目標職員数である351人以下を達成し、適正な定数管理を行うことが出来ました。 給与は市長部局の改正のタイミングに併せ、同じ水準で見直しを行いました。 			<ul style="list-style-type: none"> 再任用職員を含めた適正な人員管理を実施した結果、目標職員数である351人以下を達成し、適正な定数管理を行うことが出来ました。 給与は市長部局の改正のタイミングに併せ、同じ水準で見直しを行いました。 			<ul style="list-style-type: none"> 再任用職員を含めた適正な人員管理を実施した結果、目標職員数である351人以下を達成し、適正な定数管理を行うことが出来ました。 給与は市長部局の改正のタイミングに併せ、同じ水準で見直しを行いました。 		
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B
	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-3	業務効率化に向けた民間委託の検討・実施	所管課	経営管理課
----	---	---------	--------	-----	---------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	事業の経営責任を確保しながら、経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、新たな民間委託の導入に向けた検討を進め、効果が見込める業務について積極的に委託化に取り組みます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	新たな業務委託の実施に向けた調査・検討 ・経済性と効率化の観点や他都市の状況も含めた調査・検討を実施します。	新たな業務委託の実施に向けた調査・検討 ・経済性と効率化の観点や他都市の状況も含めた調査・検討を実施します。	新たな業務委託の実施に向けた調査・検討 ・経済性と効率化の観点や他都市の状況も含めた調査・検討を実施します。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	0			0			0		
	執行額 (b)	0			0			0		
	執行率 (%) (b) / (a)	-			-			-		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c) (実働月数)	1月	1月	100%	1月	1月	100%	1月	1月	100%
	人員 (d) 作業従事職員数	2人	2人		2人	2人		2人		
	単位あたり の作業量 (c/d) (1人あたりの作業量)	0.5ヶ月/人 (ア)	0.5ヶ月/人 (イ)		0.5ヶ月/人 (イ/ア)	0.5ヶ月/人 (ア)		0.5ヶ月/人 (イ)	0.5ヶ月/人 (イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	業務委託を目標通り実施しました。 予算に対する執行額は予定されていた 金額で実施しました。	経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、新たな民間 委託の導入に向け、他都市の状況も含めた調査・検討を実施しました。			経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、新たな民間 委託の導入に向け、他都市の状況も含めた調査・検討を実施しました。			経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、新たな民間 委託の導入に向け、他都市の状況も含めた調査・検討を実施しました。 後期マスタープランに新たな「民間委託の検討・実施」を追加しました。		
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		民間委託導入に向けた調査・検討	1点		民間委託導入に向けた調査・検討	1点		民間委託導入に向けた調査・検討	1点	
	平均 (A)	1.0点			1.0点			1.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度					
	平成30年	令和元年度	令和2年度	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点
新たな業務委託に 向けた調査・検討	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)			外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)			外的要因 加点	実績(D)	
	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(B/D)	3点		実績(D)	達成度(B/D)	3点		実績(D)	達成度(B/D)	3点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点
	-	-	-	-	-	-		-	-	-		-	-	-	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)		

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、新たな民間委託の導入に向け調査をしました。 また、予算効率は事業の性質上予算計上及び執行はありませんでした。			経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、新たな民間委託の導入に向け調査をしました。 また、予算効率は事業の性質上予算計上及び執行はありませんでした。			経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、新たな民間委託の導入に向け調査をしました。 また、予算効率は事業の性質上予算計上及び執行はありませんでした。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	事業経営責任を確保しながら、経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、新たな民間委託の導入に向け調査をしました。 引き続き、他都市の状況も含めた調査・検討を行います。			事業経営責任を確保しながら、経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、新たな民間委託の導入に向け調査をしました。 引き続き、他都市の状況も含めた調査・検討を行います。			事業経営責任を確保しながら、経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、新たな民間委託の導入に向け調査をしました。 引き続き、他都市の状況も含めた調査・検討を行います。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-4	遊休資産の有効活用	所管課	経営管理課
----	---	---------	--------	-----	-----------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	施設統廃合計画により廃止となった浄配水場等の遊休資産を有効活用することにより、財政基盤の強化を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究・施設有効活用の実施・それぞれの立地状況に応じた有効活用が出来るよう調査・研究を継続します。		
	施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究・施設有効活用の実施・それぞれの立地状況に応じた有効活用が出来るよう調査・研究を継続します。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	0			0			0		
	執行額 (b)	0			0			0		
	執行率 (%) (b) / (a)	-			-			-		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c) 時間 (h)	56時間	56時間	100%	56時間	56時間	100%	56時間	56時間	100%
	期間 (d) 作業従事職員数	2人	2人		2人	2人		2人		
	単位あたりの 作業量 (c/d) h / 人	28時間 (ア)	28時間 (イ)		28時間 (イ/ア)	28時間 (ア)		28時間 (イ)	28時間 (イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度			令和2年度					
	・太陽光発電用地としての有償貸付 (20年間) [小須戸浄水場跡地, 岩室浄水場跡地, 月潟配水場跡地]の契約, 設置工事の開始, 発電の開始をしました。	・太陽光発電用地としての有償貸付[旧新津浄水場跡地]のための準備を開始しました。			・太陽光発電用地としての有償貸付[旧新津浄水場跡地]を開始しました。			・遊休資産の新たな活用について調査をしました。					
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		太陽光発電用地としての有償貸付準備		1点		太陽光発電用地としての有償貸付		1点		施設有効活用に向けた情報収集や調査・研究の継続		1点	
		施設有効活用に向けた情報収集や調査・研究の継続		1点		施設有効活用に向けた情報収集や調査・研究の継続		1点					
	平均 (A)	1.0点			平均 (A)	1.0点			平均 (A)	1.0点			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度			
	平成30年	令和元年度	令和2年度	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点
有効活用の調査 ・研究・施設有効活用 の実施	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実施		3点	実施		3点	実施		3点	0点
	情報収集 調査・研究	情報収集 調査・研究	情報収集 調査・研究	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	0点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	-		3点	-		3点	-		3点	0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	

■ 評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	遊休資産の活用に向け、調査・研究を行いました。 予算効率は事業の性質上予算計上及び執行はありませんでした。			遊休資産の活用に向け、調査・研究を行いました。 予算効率は事業の性質上予算計上及び執行はありませんでした。			遊休資産の活用に向け、調査・研究を行いました。 予算効率は事業の性質上予算計上及び執行はありませんでした。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	旧新津浄水場跡地において、太陽光発電用地としての賃貸借契約に向け準備を行いました。 引き続き、遊休資産活用に向けた調査・検討を行っていきます。			旧新津浄水場跡地において、太陽光発電用地としての賃貸借契約を行いました。 引き続き、遊休資産活用に向けた調査・検討を行っていきます。			令和2年度は新たな遊休資産の活用はありませんでした。 引き続き、遊休資産活用に向けた調査・検討を行っていきます。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-5	時代に即した料金制度等の検討・実施	所管課	経営管理課
----	---	---------	--------	-----	-------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	水需要や財政収支の状況を踏まえ、将来にわたり安全な水の安定供給の持続が可能となるよう、維持管理・更新の時代に即した料金制度の検討を行います。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	料金体系の調査・研究、見直し案の検討。 ・他事業体の料金体系の調査・研究、見直し案の検討を実施します。 料金改定の必要性、時期、水準の検討 ・調査・研究をします。	水道料金の将来的なあり方について検討。 ・他事業体の料金体系の調査・研究、見直し案の検討を実施します。 ・長期収支モデルの作成 料金改定の必要性、時期、水準の検討 ・調査・研究をします。	水道料金の将来的なあり方について検討。 ・他事業体の料金体系の調査・研究、見直し案の検討を実施します。 料金改定の必要性、時期、水準の検討 ・調査・研究をします。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	0			0			0		
	執行額 (b)	0			0			0		
	執行率 (%) (b) / (a)	-			-			-		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	22.3 時間	22.3時間	100%	22.3 時間	22.3時間	100%	22.3 時間	22.3時間	100%
	人員 (d) 作業従事職員数	2人	2人		2人	2人		2人		
	単位あたり の作業量 (c/d) (1人あたりの作業時間)	11.1時間	11.1時間		11.1時間	11.1時間		11.1時間		
	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度			令和2年度							
	他政令市と県内市町村の料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較(政令市)を行いました。	他政令市と県内市町村の料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較(政令市)を行いました。 予算効率率は、事業の性質上予算計上及び執行はありませんでした。			他政令市と県内市町村の料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較(政令市)を行いました。 予算効率率は、事業の性質上予算計上及び執行はありませんでした。			他政令市と県内市町村の料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較(政令市)を行いました。 後期実施計画策定にあたり、令和6年度までの資金確保を確認しました。							
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~			
	料金体系の調査・研究、見直し案の検討。		1点		料金体系の調査・研究、見直し案の検討。		1点		料金体系の調査・研究、見直し案の検討。		1点				
	料金改定の必要性、時期・水準の見直し		1点		料金改定の必要性、時期・水準の見直し		1点		料金改定の必要性、時期・水準の見直し		1点				
	平均 (A)	1.0点			平均 (A)			1.0点			平均 (A)			1.0点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	平成30年	令和元年度	令和2年度	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)
料金制度見直し案の 調査・研究	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	実施	実施	3点	実施	実施	3点	実施	実施	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
長期収支モデルの作成	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	-	実施	-	-	-	-	実施	実施	3点	-	-	-
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	-	実績累計(E)	進捗度(E/C)	-	実績累計(E)	進捗度(E/C)	-
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
					-							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
					-							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
					-							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	他政令市と県内市町村の料金改定状況等を調査し、比較検証を行いました。 また、予算効率は事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			他政令市と県内市町村の料金改定状況等を調査し、比較検証を行いました。 また、予算効率は事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			他政令市と県内市町村の料金改定状況等を調査し、比較検証を行いました。 また、予算効率は事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	時代に即した料金制度等の検討のための、基礎資料の収集を行いました。 また、重要な事業取組であることから、持続可能な経営を構築することを目的に、社会情勢や財政収支などを見据えながら、引き続き調査研究を行います。			時代に即した料金制度等の検討のため、他都市へ業務調査を行い基礎資料の収集を行いました。 また、重要な事業取組であることから、持続可能な経営を構築することを目的に、社会情勢や財政収支などを見据えながら、引き続き調査研究を行います。			時代に即した料金制度等の検討のための、基礎資料の収集を行いました。 また、重要な事業取組であることから、持続可能な経営を構築することを目的に、社会情勢や財政収支などを見据えながら、引き続き調査研究を行います。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④ 2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-6	水道事業経営審議会の効果的運用	所管課	経営管理課
----	---	---------	--------	-----	-----------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	水道事業経営審議会を継続し、有識者や水道利用者などの第三者の意見や助言を事業運営に効果的に反映させます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	水道事業経営審議会の継続運営 ・水道事業の予算、決算や事業の進捗状況や評価などについての意見・提 言などを事業運営に反映します。	水道事業経営審議会の継続運営 ・水道事業の予算、決算や事業の進捗状況や評価などについての意見・提 言などを事業運営に反映します。	水道事業経営審議会の継続運営 ・水道事業の予算、決算や事業の進捗状況や評価などについての意見・提 言などを事業運営に反映します。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	437,899			469,000(293,332)			440,000		
	執行額 (b)	424,884			277,360			427,370		
	執行率 (%) (b) / (a)	97%			95%			97%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	126時間	1 2 6 時間	100%	126時間	1 2 6 時間	100%	126時間	1 2 6 時間	100%
	人員 (d) 作業従事職員数	3 人	3 人		3 人	3 人		3 人		
	単位あたり の作業量 (c/d) (1人あたりの作業時間)	42時間 (ア)	42時間 (イ)		42時間 (イ/ア)	42時間 (ア)		42時間 (イ)	42時間 (イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度			令和2年度				
	審議会を9月と11月と3月の3回開催しました。審議会の議事録は、会議資料と合わせ、局ホームページに掲載しました。	水道事業経営審議会を（3回/年）を開催し、意見・提言・助言をいただきました。審議会の議事録は会議資料と合せ、局ホームページに掲載しました。 平成31年3月に委員1名の改選があり、再任1名就任いただきました。			水道事業経営審議会を（2回/年）を開催し、意見・提言・助言をいただきました。審議会の議事録は会議資料と合せ、局ホームページに掲載しました。 令和元年10月に公募委員2名の改選があり、新たに2名就任いただきました。			水道事業経営審議会を（3回/年）を開催し、意見・提言・助言をいただきました。審議会の議事録は会議資料と合せ、局ホームページに掲載しました。 令和3年3月に委員1名の改選があり、再任1名就任いただきました。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		水道事業経営審議会の継続運営	1点		水道事業経営審議会の継続運営	1点		水道事業経営審議会の継続運営	1点			
	平均 (A)	1.0点			平均 (A)	1.0点			平均 (A)	1.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度					
	平成30年	令和元年度	令和2年度	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点
予算・決算・新・マスタープラン事業実施状況に対する意見・提言の聴取と反映	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	3点	0点	実績(D)	達成度(B/D)	3点	0点	実績(D)	達成度(B/D)	3点	0点
	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(B/D)	3点		実績(D)	達成度(B/D)	3点		実績(D)	達成度(B/D)	3点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	3点		実績累計(E)	進捗度(E/C)	3点		実績累計(E)	進捗度(E/C)	3点	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)		

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	水道事業経営審議会を3回開催し、委員1名の改選も予定通り実施できました。予算効率・作業効率も予定枠内となり、目標どおり達成しています。			水道事業経営審議会を（2回/年）を開催し、公募委員2名の改選も予定通り実施できました。コロナウイルス感染症の影響により、第3回審議会を中止したことにより、予算執行額が低くなり予算効率が上がったため、対象予算額を会議2回分に変更しました。			水道事業経営審議会を（3回/年）を開催し、委員1名の改選も予定通り実施できました。予算効率・作業効率も予定枠内となり、目標どおり達成しています。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点		6点/10点	外的要因加点		0点	6点/10点	
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	今年度は、水道事業経営審議会を3回開催し、予算・決算及び、新・マスタープランの事務事業に対する前期実施分及び平成29年度分の2次評価をいただきました。引き続き、水道事業経営審議会を開催し、意見や助言を事業運営に反映し、信頼される水道事業を目指します。			今年度は、水道事業経営審議会を2回開催し、決算及び、新・マスタープランの平成30年度分の2次評価をいただきました。引き続き、水道事業経営審議会を開催し、意見や助言を事業運営に反映し、信頼される水道事業を目指します。			今年度は、水道事業経営審議会を3回開催し、予算・決算及び、後期実施計画の確認、新・マスタープラン令和元年度分の2次評価をいただきました。引き続き、水道事業経営審議会を開催し、意見や助言を事業運営に反映し、信頼される水道事業を目指します。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点		6点/10点	外的要因加点		0点	6点/10点	

④2次評価結果

【方向性】	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	VI-1	戦略的な広報の実施	所管課	総務課
----	----	---------------------	--------	------	-----------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	「新潟市水道局広報戦略」～広報活動の考え方～に基づき、継続的に広報計画を策定し、効果的な広報活動を展開します。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	○広報計画に沿った広報活動の実施 ・独自イベントによる広報（水道週間行事、施設見学） ・お客さまに直接働きかける広報（災害パネル展示、出張授業、各種イベントへの出店） ・デジタルメディアを活用する広報（インターネット） ・紙媒体による広報（広報紙、検針票裏面、パンフレット） ・漫画を活用する広報（小学生向けパンフレット、工事看板）	○広報計画に沿った広報活動の実施 ・独自イベントによる広報（水道週間行事、施設見学） ・お客さまに直接働きかける広報（災害パネル展示、出張授業、各種イベントへの出店） ・SNSを活用する広報（フェイスブック） ・紙媒体による広報（広報紙、検針票裏面、パンフレット） ・漫画を活用する広報（小学生向けパンフレット、工事看板）	○広報計画に沿った広報活動の実施 ・独自イベントによる広報（水道週間行事、施設見学） ・お客さまに直接働きかける広報（災害パネル展示、出張授業、各種イベントへの出店） ・SNSを活用する広報（フェイスブック） ・紙媒体による広報（広報紙、検針票裏面、パンフレット） ・漫画を活用する広報（小学生向けパンフレット、工事看板）

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	39,517,000			39,053,000			39,614,000		
	執行額 (b)	40,344,835			37,693,717			33,029,384		
	執行率 (%) (b) / (a)	102%			97%			83%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	2880時間	2880時間		2880時間	2880時間		2880時間	2880時間	
	期間 (d) (実働月数)	12カ月	12カ月	100%	12カ月	12カ月	100%	12カ月	12カ月	100%
	単位あたり の作業量 (c/d) (1月あたりの作業時間)	240時間 (ア)	240時間 (イ)	(イ/ア)	240時間 (ア)	240時間 (イ)	(イ/ア)	240時間 (ア)	240時間 (イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度			令和2年度				
	水道週間行事を見直したり、他団体のイベントに積極的に参加し、水道水のおいしさや安全性をアピールするとともに、管路更新事業や浄水場改良事業といった重点施策についても説明することができました。 小学4年生を対象とした出張授業では、当初予定していた回数から大幅に増やして実施しました。(10回⇒25回)局HPのトップページをお客さまにとって見やすくするよう改修するとともに、SNS (Facebook) を活用した広報も始めるなどインターネットを活用した広報の充実を図りました。 これらの施策を通して幅広い層へ水道局の魅力を発信できていると考えています。 また、広報紙(水先案内)へ有料広告を掲載し、水道料金以外の収入も確保できました。	様々なイベントに積極的に参加し、水道水のおいしさや安全性をアピールするとともに、広報紙などで管路更新事業や浄水場改良事業といった重点施策について説明しました。 また、小学4年生を対象とした出張授業、SNS (フェイスブック) の活用など幅広い年齢層への情報発信も行いました。 これらの施策を通して幅広い層へ水道局の魅力を発信できていると考えています。			様々なイベントに積極的に参加し、水道水のおいしさや安全性をアピールするとともに、広報紙などでは、耐震管への入れ替え事業などの重点施策について説明しました。 また、小学4年生を対象とした出張授業、SNS (フェイスブック) の活用など幅広い年齢層への情報発信も行いました。 これらの施策を通して幅広い層へ水道局の魅力を発信できていると考えています。			新型コロナウイルス感染症の影響から、水道週間(信濃川浄水場一般開放)を始め各種イベントが中止となりましたが、水道週間では「水太郎の手洗いカード」を市内小学校に配布するなどの代替広報を実施、他ではSNS (フェイスブック) の積極的な活用を行いました。 また、広報紙「水先案内」では漫画の活用に加え、集中連載「ご存知ですか？水道事業のこと」を連載するなど分かりやすい広報に努めました。 これらの施策を通し、コロナ禍ではありましたが、幅広い層へ水道局の魅力を発信できていると考えています。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
					独自イベント		1点					
				防災パネルの展示、出張授業		1点						
				HP		1点						
				広報紙、検針票裏面広告		1点						
				小学生向けパンフレット		1点						
	平均 (A)			平均 (A)		1.0点			平均 (A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	平成30年	令和元年度	令和2年度	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
お客さまアンケートにおける 広報紙「水先案内」 の認知度	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	72%以上	—	72%以上	—	—	—	81%	113.0%	4点	—	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	—	—	—	—	—	—	—	—	4点	—	—	—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	※平成30年度は「お客さまアンケート」を実施しなかったため、「お客さまアンケート」における広報紙「水先案内」の認知度は評価対象外とします。			予算や体制については、計画的に実施され、目的は概ね達成しました。			※後期実施計画を策定する際に「お客さまアンケート」の実施年度の見直しをおこなったため、令和2年度はアンケートを実施しませんでした。「お客さまアンケート」における広報紙「水先案内」の認知度は評価対象外とします。		
評価結果	予算効率	—	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	—	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	—	—	作業効率	3点	C	作業効率	—	—
	外的要因加点	—	0点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	—	0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	※平成30年度は「お客さまアンケート」を実施しなかったため、「お客さまアンケート」における広報紙「水先案内」の認知度は評価対象外とします。			出張授業では応募校全てで実施するなど戦略的な広報を実施できたこと評価しています。 また、平成30年度に実施しなかった「お客さまアンケート」を実施しました。目標値は平成30年度の「72%以上」としました。			※後期実施計画を策定する際に「お客さまアンケート」の実施年度の見直しをおこなったため、令和2年度はアンケートを実施しませんでした。「お客さまアンケート」における広報紙「水先案内」の認知度は評価対象外とします。		
評価結果	達成度	—	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	—	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	—	—	進捗度	3点	C	進捗度	—	—
	外的要因加点	—	0点/10点	外的要因加点	—	6点/10点	外的要因加点	—	0点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	—
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	お客様アンケート実施年度の見直しのため、当該年度のアンケート実施を見送ったため、1次評価ができない状況はやむを得ないと判断できる。次年度以降、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度					
	平成30年	令和元年度	令和2年度	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点
お客さまアンケートの実施	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	実施(一般家庭)	—	実施(一般家庭)	未実施	未実施	1点	実施	100.0%	3点	未実施	未実施	—	未実施	未実施	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
水道モニター活動回数 (モニター会議、施設 見学会、提言発表会 等開催数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	4回	4回	4回	4回	100.0%	3点	4回	100.0%	3点	中止	中止	—	中止	中止	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	水道モニター制度運用については、効率的に実施できました。 なお、お客さまアンケートについては、新・マスタープラン後期実施計画への反映、費用対効果の観点から、平成31年度実施へ変更しました。			お客さまアンケート、水道モニター制度とも計画的に実施され、目的は概ね達成しました。			後期実施計画を策定する際に「お客さまアンケート」の実施年度の見直しを行ったため、令和2年度はアンケートを実施しませんでした。また、新型コロナウイルス感染症の影響から、水道モニター事業は中止しました。 「お客さまアンケートの実施」及び「水道モニター活動回数」は評価対象外とします。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	2点	総合評価	予算効率	—	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	—	—
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	—	0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	水道モニター制度運用については、予定通りのプログラムを遂行できたことから、水道モニターから水道事業についての理解を得ることができました。 なお、お客さまアンケートについては、新・マスタープラン後期実施計画への反映、費用対効果の観点から、平成31年度実施へ変更しました。			お客さまアンケートについては、お客さまの水道事業に対する評価や意見の把握を行い、今後の事業運営の参考とすることができました。 また、水道モニター制度については、予定通りのプログラムを遂行でき、水道モニターに水道事業への理解を深めていただきました。			後期実施計画を策定する際に「お客さまアンケート」の実施年度の見直しを行ったため、令和2年度はアンケートを実施しませんでした。また、新型コロナウイルス感染症の影響から、水道モニター事業は中止しました。 「お客さまアンケートの実施」及び「水道モニター活動回数」は評価対象外とします。		
評価結果	達成度	2点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	—	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	2点	D	進捗度	3点	C	進捗度	—	—
	外的要因加点	0点	4点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	—	0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	改善・見直し	維持	—
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進し、お客様の意見・要望の把握に努めること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	お客様アンケート実施年度の見直し、及び水道モニター事業の中止のため、1次評価ができない状況はやむを得ないと判断できる。次年度以降、計画に沿って事業を推進し、お客様の意見・要望の把握に努めること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	VI-3	分かりやすい経営情報の開示	所管課	経営管理課
----	----	---------------------	--------	------	---------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	これからの水道事業に要する費用負担のあり方や経営の効率化に対する取組みなどについて、分かりやすくお客さまにお知らせし、水道事業経営の透明性の向上を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	・料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供 ・経営効率化に関する取組み情報の提供	・料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供 ・経営効率化に関する取組み情報の提供	・料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供 ・経営効率化に関する取組み情報の提供

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	0			0			0		
	執行額 (b)	0			0			0		
	執行率 (%) (b) / (a)	-			-			-		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	79時間	79時間	100%	79時間	79時間	100%	79時間	79時間	100%
	期間 (d) 作業従事職員数	6人	6人		6人	6人		6人		
	単位あたり の作業量 (c/d) (1人あたりの作業時間)	13.1時間 (ア)	13.1時間 (イ)		(イ/ア)	13.1時間 (ア)		13.1時間 (イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	・「他都市料金比較」、「決算概要」を 広報紙「水先案内」に掲載しました。 ・水道事業ガイドライン業務指標及び平 成28年度事務事業評価の結果を ホームページで公表しました。また、総務 省通知「公営企業に係る「経営比較分 析表」の策定及び公表について」に基づ き、平成28年度水道事業会計決算 の経営比較分析表を、ホームページで 公表しました。 ・新・マスタープラン中期実施計画を策定 し、ホームページで公表しました。	・「他都市料金比較」、「料金収入」及び「決算概要」を広報紙「水先案内」 に掲載しました。 ・水道事業ガイドライン業務指標及び平成29年度事務事業評価の結果、 新・マスタープラン前期実施計画の結果をホームページで公表しました。 また、総務省通知「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表に ついて」に基づき、平成29年度水道会計決算の経営比較分析表をホーム ページで公表しました。			・「他都市料金比較」、「料金収入」及び「決算概要」を広報紙「水先案内」 に掲載しました。 ・水道事業ガイドライン業務指標及び平成30年度事務事業評価の結果、 新・マスタープラン前期実施計画の結果をホームページで公表しました。 また、総務省通知「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表に ついて」に基づき、平成30年度水道会計決算の経営比較分析表をホーム ページで公表しました。			・広報紙「水先案内」に予算及び決算概要を掲載しました。また、水道事業 について集中連載（夏・秋・冬号）をしました。 ・水道事業ガイドライン業務指標及び令和元年度事務事業評価の結果、 新・マスタープランの結果をホームページで公表しました。また、総務省通知 「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」に基づき、 令和元年度水道会計決算の経営比較分析表をホームページで公表しまし た。		
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	料金設定の仕組み及びコスト情報の提供		1点		料金設定の仕組み及びコスト情報の提供	1点		料金設定の仕組み及びコスト情報の提供	1点	
	経営効率化に関する取組情報の提供		1点		経営効率化に関する取組情報の提供	1点		経営効率化に関する取組情報の提供	1点	
平均 (A)	1.0点			1.0点			1.0点			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	平成30年	令和元年度	令和2年度	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)
料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供 (ホームページおよび水先案内に掲載)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	1回/年以上	1回/年以上	1回/年以上	1回/年以上(2回)	100%	3点	1回/年以上(2回)	100%	3点	1回/年以上(3回)	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
経営効率化に関する取り組み情報の提供 (ホームページおよび水先案内に掲載)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	1回/年以上	1回/年以上	1回/年以上	1回/年以上(2回)	100%	3点	1回/年以上(2回)	100%	3点	1回/年以上(2回)	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	料金設定の仕組み及びコスト情報、経営効率化に関する取組情報の提供を予定通り行いました。 事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			料金設定の仕組み及びコスト情報、経営効率化に関する取組情報の提供を予定通り行いました。 事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			水道事業の仕組みについての情報、経営効率化に関する取組情報の提供を予定通り行いました。 事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	料金設定の仕組み及びコスト情報、経営効率化に関する取組情報の提供について、イラストや図表、分かりやすい内容で広報誌「水先案内」及びホームページで提供しました。 引き続き分かりやすい内容での情報提供となるよう努めていきます。			料金設定の仕組み及びコスト情報、経営効率化に関する取組情報の提供について、イラストや図表、分かりやすい内容で広報誌「水先案内」及びホームページで提供しました。 引き続き分かりやすい内容での情報提供となるよう努めていきます。			水道事業の仕組みについての情報、経営効率化に関する取組情報の提供について、イラストや図表、分かりやすい内容で広報誌「水先案内」及びホームページで提供しました。 引き続き分かりやすい内容での情報提供となるよう努めていきます。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	VI-4	放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	所管課	経営管理課
----	----	---------------------	--------	------	-------------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	放射性物質を含む浄水汚泥について、厳重な保管・管理を徹底するとともに、水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度の検査結果、浄水場等における放射線量などについて、お客さまに対し情報提供を行います。								
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理 ・通常発生する200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効利用を継続 ・継続保管している8,000Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の一部を処分 ・水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量などの検査の継続 ・ホームページ等による検査結果の情報提供を継続 ・8,000Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、国・県への積極的な要望を継続			厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理 ・通常発生する200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効利用を継続 ・継続保管している8,000Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥を全量処分 ・水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量などの検査の継続 ・ホームページ等による検査結果の情報提供を継続 ・8,000Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥（指定廃棄物）の処分について、国・県への積極的な要望を継続			厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理 ・通常発生する200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効利用を継続 ・水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量などの検査の継続 ・ホームページ等による検査結果の情報提供を継続 ・8,000Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥（指定廃棄物）の処分について、国・県への積極的な要望を継続		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	0 (732,997,970)			0 (678,613,375)			0 (345,942,000)		
	執行額 (b)	0 (506,514,865)			0 (509,607,712)			0 (248,606,639)		
	執行率 (%) (b) / (a)	-			-			-		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c)	627.5	1055.8		1055.8	627.5		627.5	379.6	
	時間 (h)									
	人員 (d) 作業従事職員数	62人	70	149%	70	66	63%	66	56	71%
	単位あたり の作業量 (c/d) h/人	10.1 (ア)	15.1 (イ)	(イ/ア)	15.1 (ア)	9.5 (イ)	(イ/ア)	9.5 (ア)	6.8 (イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度			令和2年度					
	・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理を行いました。 ・200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効活用及び水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量の検査を継続して行いました。また、調査した検査結果は、ホームページ等で情報提供を行いました。 ・継続保管している8,000Bq/kg以下の浄水汚泥の一部について、有効利用を行いました。 ・8,000Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分については、環境省及び新潟県に日本協新潟県支部として要望書の提出を行いました。	厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥を厳重に保管・管理しました。 ・200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥を有効活用しました。 ・8,000Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の一部を処分しました。 ・水道水、河川水及び浄水汚泥の放射性物質濃度並びに浄水場周辺の放射線量を検査しました。 ・放射性物質濃度及び放射線量の検査結果をホームページ等で情報提供しました。 ・8,000Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、環境省及び新潟県に対して、日本協新潟県支部として要望書を提出しました。			厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥を厳重に保管・管理しました。 ・200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥を有効活用しました。 ・8,000Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の全量を処分しました。 ・水道水、河川水及び浄水汚泥の放射性物質濃度並びに浄水場周辺の放射線量を検査しました。 ・放射性物質濃度及び放射線量の検査結果をホームページ等で情報提供しました。 ・8,000Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、環境省及び新潟県に対して、日本協新潟県支部として要望書を提出しました。			厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥を厳重に保管・管理しました。 ・200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥を有効活用しました。 ・水道水、河川水及び浄水汚泥の放射性物質濃度並びに浄水場周辺の放射線量を検査しました。 ・放射性物質濃度及び放射線量の検査結果をホームページ等で情報提供しました。 ・8,000Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、国に対して、日本協として要望書を提出しました。					
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施		1点		厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施		1点		厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施		1点	
平均 (A)	1.0点			平均 (A)	1.0点			平均 (A)	1.0点				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度							
	平成30年	令和元年度	令和2年度	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点		
汚泥保管施設における放射線量測定結果の情報開示の継続	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点		
	開示	開示	開示	開示		開示	3点	開示		開示	3点	開示		開示	3点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)		進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	-	-	-	-		-	3点	0点	-		-	3点	0点	-		-	3点
放射性物質濃度の分析調査結果の情報開示の継続	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点		
	開示	開示	開示	開示		開示	3点	開示		開示	3点	開示		開示	3点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)		進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	-	-	-	-		-	3点	0点	-		-	3点	0点	-		-	3点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・8,000Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の処分方法及び日程の変更により、当初予定した処分数量を下回ったため、一部予算が不用となりました。 ・8,000Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の処分に関して、検査及び搬出などの作業量増加により、総作業量が予定以上となりました。 			<ul style="list-style-type: none"> ・8,000Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥が当初見込んでいた処分数量を下回ったため、一部予算が不用となりました。 ・今年度予定されていた取組内容については、計画通り実施されました。 			<ul style="list-style-type: none"> ・100Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の搬出業務を年度途中から一者随意契約から一般競争入札に変更したため契約差益が発生し、一部予算が不用となりました。 ・今年度予定されていた取組内容については、計画通り実施されました。 		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	2点	C	作業効率	4点	B	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「汚泥保管施設における放射線量測定」及び「放射性物質濃度の分析調査」の結果について、お客さまに対して適切に情報を開示しました。 			<ul style="list-style-type: none"> ・「汚泥保管施設における放射線量測定」及び「放射性物質濃度の分析調査」の結果について、お客さまに対して適切に情報を開示しました。 			<ul style="list-style-type: none"> ・「汚泥保管施設における放射線量測定」及び「放射性物質濃度の分析調査」の結果について、お客さまに対して適切に情報を開示しました。 		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持 経営審議会総評		維持 経営審議会総評		維持 経営審議会総評	
		引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VII	技術・知識を有する人材の確保と育成	事業・取組名	VII-1	人材育成と専門性の強化	所管課	総務課
----	-----	-------------------	--------	-------	-------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	水道事業は専門性が高いために継承すべき技術が多く、施設整備計画の策定、設計施工管理、危機管理および現場対応力など、これらはいずれも高度な知識と経験が求められます。事業の持続のためには、専門知識と実務経験を併せ持つ職員の確保と育成が重要となります。						
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度		令和元年度			令和2年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ○技術系新規採用職員の独自採用、教育配転の実施 ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続します。 ・新規採用職員のジョブローテーションの指針に従って教育配転を行います。（以上、職員係） ○各種研修の実施 ・新潟市水道局職員研修基本計画に基づく研修を確実に実施し、研修計画を適宜、見直しながら充実に図ります。 ○水道研修センターの効果的運用 ・水道研修センターの効果的運用を図ります。 		<ul style="list-style-type: none"> ○技術系新規採用職員の独自採用、教育配転の実施 ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続します。 ・新規採用職員のジョブローテーションの指針に従って教育配転を行います。 ○各種研修の実施 ・新潟市水道局職員研修基本計画に基づく研修を確実に実施し、研修計画を適宜、見直しながら充実に図ります。 ○水道研修センターの効果的運用 ・水道研修センターの効果的運用を図ります。 			<ul style="list-style-type: none"> ○技術系新規採用職員の独自採用、教育配転の実施 ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続します。 ・新規採用職員のジョブローテーションの指針に従って教育配転を行います。 ○各種研修の実施 ・新潟市水道局職員研修基本計画に基づく研修を確実に実施し、研修計画を適宜、見直しながら充実に図ります。 ○水道研修センターの効果的運用 ・水道研修センターの効果的運用を図ります。 	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	4,185,800			4,035,800			3,971,800		
	執行額 (b)	2,601,355			2,847,287			1,312,925		
	執行率 (%) (b) / (a)	62%			71%			33%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	1900時間	1900時間	100%	1900時間	1900時間	100%	1900時間	1900時間	100%
	期間 (d) (作業従事職員数)	1人	1人		1人	1人		1人		
	単位あたり の作業量 (c/d) (1人あたりの年間作業時間)	1900時間 (ア)	1900時間 (イ)		1900時間 (イ/ア)	1900時間 (ア)		1900時間 (イ)	1900時間 (イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度			令和2年度							
	<p>・専門別研修を、今まで以上に効率的に実施できるよう、講座ごとの時間割の整理や日程の短縮など、研修のあり方や実施方法について検討しました。</p> <p>また、係長3年目研修・10年目研修の実施方法の検討も行いました。</p> <p>これらの内容を盛り込んだ、職員研修基本計画の改訂を行い、平成30年度からの実施に向け準備しました。</p> <p>・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続するとともに、既卒者及び民間企業等経験者などを対象とした特別採用試験を実施し、人材の確保に努めました。</p> <p>・新規採用職員（技術職）のジョブローテーションの指針に従った教育配転を行いました。</p> <p>・職員研修基本計画に基づいた研修を行いました。</p> <p>・水道研修センターについては、計画的な研修に活用したほか、積極的な実施を推奨している職場内OFF-JTの会場としても活用しました。</p>	<p>・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続するとともに、既卒者及び民間企業等経験者などを対象とした特別採用試験を実施し、人材の確保に努めました。</p> <p>・新規採用職員（技術職）のジョブローテーションの指針に従った教育配転を行いました。</p> <p>・職員研修基本計画に基づいた研修を行いました。</p> <p>・水道研修センターについては、計画的な研修に活用したほか、積極的な実施を推奨している職場内OFF-JTの会場としても活用しました。</p>	<p>・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続するとともに、既卒者及び民間企業等経験者などを対象とした特別採用試験を実施し、人材の確保に努めました。</p> <p>・新規採用職員（技術職）のジョブローテーションの指針に従った教育配転を行いました。</p> <p>・職員研修基本計画に基づいた研修を行いました。</p> <p>・水道研修センターについては、計画的な研修に活用したほか、積極的な実施を推奨している職場内OFF-JTの会場としても活用しました。</p>	<p>・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続するとともに、既卒者及び民間企業等経験者などを対象とした追加募集採用試験を実施し、人材の確保に努めました。</p> <p>・新規採用職員（技術職）のジョブローテーションの指針に従った教育配転を行いました。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、職員研修基本計画に基づき可能と判断した研修を行いました。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、水道研修センターについては、計画的な研修に活用したほか、積極的な実施を推奨している職場内OFF-JTの会場としても活用しました。</p>	<p>予定を上回る 101%以上</p>	<p>予定どおり 90%~ 100%以下</p>	<p>予定を下回る 90%未満~</p>	<p>予定を上回る 101%以上</p>	<p>予定どおり 90%~ 100%以下</p>	<p>予定を下回る 90%未満~</p>	<p>予定を上回る 101%以上</p>	<p>予定どおり 90%~ 100%以下</p>	<p>予定を下回る 90%未満~</p>		
		技術系新規採用職員の独自採用、教育配転	1点		技術系新規採用職員の独自採用、教育配転	1点		技術系新規採用職員の独自採用、教育配転	1点						
		各種研修の実施	1点		各種研修の実施	1点		各種研修の実施	0点						
		水道研修センターの運用	1点		水道研修センターの運用	1点		水道研修センターの運用	1点						
平均 (A)	1.0点			平均 (A)			1.0点			平均 (A)			0.7点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	平成30年	令和元年度	令和2年度	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
年間内部研修実施時間 (延べ年間研修時間 /年度末職員数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	15.5時間/人	93.9%	3点	16.1時間/人	94.2%	3点	5.0時間/人	28.1%	1点
	16.5時間/人	17.1時間/人	17.8時間/人	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	1点
	—	—	—	—	—	3点	—	—	3点	—	—	1点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・予算の範囲内で、必要な研修を効率的に実施しました。			・予算の範囲内で、必要な研修を効率的に実施しました。			・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、予算の範囲内で、必要な研修を実施しました。		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B	作業効率	2点	C
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	1点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・職場内OFF-JTを推奨し、目標値こそ下回ったが概ね必要な研修時間の確保ができました。			・職場内OFF-JTを推奨し、目標値こそ下回ったが概ね必要な研修時間の確保ができました。			・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、可能と判断した研修を実施しましたが、十分な研修時間の確保はできませんでした。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	1点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	1点	D
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	1点	3点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
		引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VII	技術・知識を有する人材の確保と育成	事業・取組名	VII-2	諸外国との水道技術研究交流	所管課	総務課
----	-----	-------------------	--------	-------	---------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	我が国の水道事業は高度な技術のもと管理・運営されており、世界のトップランナーとして国際的にも高い評価を得ていることから、その技術・経験を国際貢献・国際協力に生かすことが期待されています。本市においても、水道技術の国際交流を通じた中で、国際的な視野と見識を持った人材の育成を図ります		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	国際会議等への積極的な参加 ・水道技術国際シンポジウムへの参加 ・自治体水道国際展開プラットフォームへの参加 ・国際水協会世界会議への参加 インターンシップの受入 ・外国人留学生のインターンシップ受入（新潟大学との連携）	国際会議等への積極的な参加 ・水道技術国際シンポジウムへの参加 ・自治体水道国際展開プラットフォームへの参加 ・日米台水道地震対策ワークショップへの参加（隔年開催） インターンシップの受入 ・外国人留学生のインターンシップ受入（新潟大学との連携）	国際会議等への積極的な参加 ・自治体水道国際展開プラットフォームへの参加 インターンシップの受入 ・外国人留学生のインターンシップ受入（新潟大学との連携）

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	1,842,600			624,697			19,655		
	執行額 (b)	613,207			567,378			0		
	執行率 (%) (b) / (a)	33%			91%			0%		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	12時間	9時間		12時間	12時間		6時間	6時間	
	期間 (d) (作業従事職員数)	1人	1人	75%	1人	1人	100%	1人	1人	100%
	単位あたり の作業量 (c/d) (1人あたりの年間作業時間)	12時間	9時間	(イ/ア)	12時間	12時間	(イ/ア)	6時間	6時間	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度			令和2年度					
	<ul style="list-style-type: none"> 国際会議等に積極的に職員を派遣し、先進都市の諸外国への貢献事例等の情報収集を行いました。 台湾で開催された日米台水道地震対策ワークショップに1名参加（H29.10） 東京都で開催された自治体水道国際展開プラットフォームに1名参加（H30.1） 	<ul style="list-style-type: none"> 国際会議等に積極的に職員を派遣し、先進都市の諸外国への貢献事例や課題、方向性等の情報収集を行いました。 東京都で開催された自治体水道国際展開プラットフォームに1名参加（H31.1） 東京都で開催された国際水協会世界会議に7名参加（H30.9） 外国人留学生2名のインターンシップを受け入れました。（H30.8.29-9.14） 			<ul style="list-style-type: none"> 国際会議等に積極的に職員を派遣し、先進都市の諸外国への貢献事例や課題、方向性等の情報収集を行いました。 横浜で開催された水道技術国際シンポジウムに2名参加（R1.7） 東京都で開催された自治体水道国際展開プラットフォームに1名参加（R2.1） アメリカ合衆国で開催された日米台水道地震対策ワークショップに1名参加（R1.11） 外国人留学生3名のインターンシップを受け入れました。（R1.8.19-9.11） 			<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響により、実際に対面での会議はありませんでしたが、代替開催されたWeb会議に参加し、先進都市の諸外国への貢献事例や課題、方向性等の情報収集を行いました。 自治体水道国際展開プラットフォームに2名参加（令和3年1月21日実施） 外国人留学生のインターンシップの受け入れはありませんでした。（令和3年2月13日 Webにおける成果発表会には参加） 					
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		自治体水道国際展開プラットフォームへの参加		1点		自治体水道国際展開プラットフォームへの参加		1点		自治体水道国際展開プラットフォームへの参加		1点	
		国際水協会世界会議への参加		1点		日米台水道地震対策ワークショップへの参加		1点		国際インターンシップの受け入れ			0点
		国際インターンシップの受け入れ		1点		国際インターンシップの受け入れ		1点					
		水道技術国際シンポジウム等への参加			0点	水道技術国際シンポジウムへの参加		1点					
平均 (A)		0.8点			平均 (A)	1.0点			平均 (A)	0.5点			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	平成30年	令和元年度	令和2年度	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
国際研修等への 参加人数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	4人	3人	2人	8人	200%	5点	4人	133.3%	5点	2人	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	—	—	—	—	—	5点	—	—	5点	—	—	3点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・国際会議への参加を通じて、先進都市の諸外国への貢献事例等の最新情報を収集することができました。			・国際会議への参加を通じて、先進都市の諸外国への貢献事例等の最新情報を収集することができました。			・コロナ禍のため、対面の会議が中止されるなど、制約もありましたが、Webを通じた国際会議への参加により、先進都市の諸外国への貢献事例等の最新情報を収集することができました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	2点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・会議での報告内容や、参加者間での意見交換及び、国際インターンシップの受け入れを通じた外国の方との交流を通して、国際的視野及び知識を持った人材の育成につなげていくことができました。			・会議での報告内容や、参加者間での意見交換及び、国際インターンシップの受け入れを通じた外国の方との交流を通して、国際的視野及び知識を持った人材の育成につなげていくことができました。 ・海外で開催された国際会議への職員派遣により、現地での実際に海外の水道事業に触れる経験を通して、新たな知識を習得することができました。			・会議での報告内容や、参加者間での意見交換を通して、国際的視野及び知識を持った人材の育成につなげていくことができました。		
評価結果	達成度	5点	総合評価	達成度	5点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	5点	A	進捗度	5点	A	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	10点/10点	外的要因加点	0点	10点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VIII	環境に配慮した事業運営	事業・取組名	VIII-1	建築副産物の再利用促進	所管課	技術管理室
----	------	-------------	--------	--------	-------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	建設副産物の再利用により、CO2排出量の削減や省エネルギー化を図り、環境保全への社会的責任を果たします。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	平成30年度		令和元年度
	改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続します。 ・建設発生土について、埋戻しに適さない発生土を改良し、埋戻し材としての再利用を進めます。再生土を利用した工事の発注を継続して実施すると共に、再利用箇所の精査を行い、率の向上に繋がります。		改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続します。 ・建設発生土について、埋戻しに適さない発生土を改良し、埋戻し材としての再利用を進めます。再生土を利用した工事の発注を継続して実施すると共に、再利用箇所の精査を行い、率の向上に繋がります。
	令和2年度		令和2年度
	改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続します。 ・建設発生土について、埋戻しに適さない発生土を改良し、埋戻し材としての再利用を進めます。再生土を利用した工事の発注を継続して実施すると共に、再利用箇所の精査を行い、率の向上に繋がります。		改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続します。 ・建設発生土について、埋戻しに適さない発生土を改良し、埋戻し材としての再利用を進めます。再生土を利用した工事の発注を継続して実施すると共に、再利用箇所の精査を行い、率の向上に繋がります。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	予算額 (a)	0			0			0		
	執行額 (b)	0			0			0		
	執行率 (%) (b) / (a)	-			-			-		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) は どれくらい かけたか	年度	目標	平成30年度	対目標	目標	令和元年度	対目標	目標	令和2年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	10時間	10時間	100%	10時間	10時間	100%	10時間	10時間	100%
	期間 (d) (作業従事職員数)	2人	2人		2人	2人		2人		
	単位あたり の作業量 (c/d) (1人あたりの年間の作業時間)	5時間 (ア)	5時間 (イ)		5時間 (イ/ア)	5時間 (ア)		5時間 (イ)	5時間 (イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	29年度実績	平成30年度			令和元年度				令和2年度				
	改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材を再生プラントにて再資源化しました。(再生率100%) ・建設発生土について、埋戻しに適する発生土は再利用し、適さない発生土は再生プラントへの搬入が可能であれば改良し、再利用しました。(再生率18.5%)	改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。(再生率100%) ・建設発生土について、埋戻しに適するものは再利用し、埋戻しに適さないものは再生プラントへの搬入が可能であれば改良し、再利用しました。(再生率3.8%)			改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。(再生率100%) 改良土の利用促進 ・平成30年度より、建設副産物に関する集計機関が変更されたことにより、土質改良による発生土のリサイクル率抽出について従前の方法(改良土採用工事の発生土量における採用率)では算出できなくなったことから再生率については、全工事における発生土の土質改良の割合となる。(再生率1.1%)				改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。(再生率100%) ・平成30年度より、建設副産物に関する集計機関が変更されたことにより、土質改良による発生土のリサイクル率抽出について従前の方法(改良土採用工事の発生土量における採用率)では算出できなくなったことから再生率については、全工事における発生土の土質改良の割合となる。(再生率1.6%) ・建設発生土については、最終処分を必要とする発生土が少なかったこともあり、改良土を含む有効利用率は96.2%となった。 ・建設副産物全体のリサイクル率は97.2%と高い達成率となった。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	
	改良土の利用促進			0点	改良土の利用促進			0点	改良土の利用促進			0点	
	平均 (A)	0.0点			平均 (A)	0.0点				平均 (A)	0.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	平成30年	令和元年度	令和2年	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)
建設副産物の リサイクル率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因
	40%	40%	40%	68%	168.8%	5点	85%	213.3%	5点	97%	243.0%	5点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	-	-	-	-	-	5点	-	-	5点	-	-	5点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因
						加点			加点			加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因
						加点			加点			加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因
						加点			加点			加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因
						加点			加点			加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	建設副産物全体のリサイクル率を向上させるため、今後も改良土の利用を促進していきます。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			改良土については、利用条件の厳しい工事が増加、発生土再利用方法の変化、土質改良プラントの閉鎖するなど社会情勢からも、今後、益々利用率が縮小していくものと思われます。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			改良土の利用について不適当な工事が多く、利用率については前年度とほぼ同等となった。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	改良土を使用する幹線更新工事が、市内中心部に集中してきた事により、渋滞等の発生を抑制するため、夜間工事が増加しています。そのため、再生プラントへの発生土搬入が出来ず、改良土を利用する工事が減少して、改良土の利用促進が進まない状況ですが、アスファルト廃材とコンクリート廃材については今後も100%の再利用を行います。 なお、国土交通省による副産物の集計方法の変更に伴い、発生土の処分先を砂利採取後の埋戻しに使用した場合、再生に計上できることとなったため、リサイクル率が上昇しました。			市内中心部における工事がより多くなった事により、夜間工事がさらに増加しています。そのため、改良土を利用する工事が減少し、改良土の利用促進が一段と進まない状況となっております。アスファルト廃材とコンクリート廃材については引き続き100%の再利用を行います。 平成30年度は、副産物の集計方法が変更されたことにより受注者に浸透していなかったと思われるが、当該年度では内容の理解が十分に浸透したことによりリサイクル率が上昇しましたが、実情に合ったものだと思います。			品質やコストなどから工事全体の改良土の利用機会の減少し、改良プラントの閉鎖も相まって益々改良土の利用促進が出来ない状況となっております。アスファルト廃材とコンクリート廃材については引き続き100%の再利用を行います。 昨年に引き続き、発生土の有効利用及び集計が適正に行われたことにより、リサイクル率がさらに上昇しました。		
評価結果	達成度	5点	総合評価	達成度	5点	総合評価	達成度	5点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	5点	A	進捗度	5点	A	進捗度	5点	A
	外的要因加点	0点	10点/10点	外的要因加点	0点	10点/10点	外的要因加点	0点	10点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評		
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			平成30年度				令和元年度				令和2年度			
	平成30年	令和元年度	令和2年度	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因	実績(D)		達成度(B/D)	外的要因
環境報告書の 作成・公表	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因
	実施	実施	実施	実績	実施	3点	加点	実施	実施	3点	加点	実施	実施	3点	加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点
-	-	-	-	-	3点	-		-	3点	-		-	3点		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因
							加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因
							加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因
							加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因	実績(D)	達成度(B/D)		外的要因
							加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)		

■評価結果

所管評価	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでしたので、予算の執行率は予定通りとみなして評価しました。 事業取り組みとしては、環境計画の運用や環境報告書の作成・公表を予定通り実施しました。			事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでしたので、予算の執行率は予定通りとみなして評価しました。 事業取り組みとしては、環境計画の運用や環境報告書の作成・公表を予定通り実施しました。			事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでしたので、予算の執行率は予定通りとみなして評価しました。 事業取り組みとしては、環境計画の運用や環境報告書の作成・公表を予定通り実施しました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	環境報告書の策定、公表を行い、環境施策と効果について市民に情報提供を行いました。 進捗度は事業の性質上評価ができませんでした。			環境報告書の策定、公表を行い、環境施策と効果について市民に情報提供を行いました。 進捗度は事業の性質上評価ができませんでした。			環境報告書の策定、公表を行い、環境施策と効果について市民に情報提供を行いました。 進捗度は事業の性質上評価ができませんでした。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。